

全学共通副専攻 履修ガイド

もくじ

第1章 全学共通副専攻を知る

I. 全学共通副専攻について	264
1. 全学共通副専攻とは	264
2. 副専攻とは	264
3. 指定科目とは	264
4. 修了必要単位数とは	264
5. コーディネーターとは	264
II. 全学共通副専攻履修方法について	265
1. 履修を開始するには	265
2. 科目登録について	265
3. 単位の修得・算入について	265
4. 修了希望申請について	266
5. 修了演習登録希望申請について	266
6. 修了の条件について	266
7. その他	266
III. Q&A	267

第2章 全学共通副専攻 各副専攻 紹介

1. EU・欧州統合研究 ～欧州統合は、共存のための壮大な歴史の実験～	270
2. イスラーム地域研究 ～現代のイスラームとムスリム社会の政治・歴史・文化などを幅広く理解する。～	272
3. 映画・映像 ～映像で語る事は、半ば発明です～	274
4. 英語と異文化理解 ～海外大学の学生と英語で話し、生の声を聞こう～	276
5. オーストラリア研究 ～オーストラリアから始まるグローバル化：あなたも探求しませんか～	278
6. 感性文化学・美学 ～日常の中にあなたは何を発見しますか～	280
7. 国際協力 ～日本は何をすべきか、自分は何ができるか～	282
8. ことばの科学 ～みずみずしい「ことば」の科学は人間探求の道しるべです～	284
9. コリア研究 ～サランヘヨからはじめよう～	286
10. ジャーナリズム／メディア文化	288
～ジャーナリズムの「イズム」は人間に宿る。メディア文化を縦横に学ぶ旅に出よう。～	
11. 社会貢献とボランティア ～自分を変える。社会が変わる。～	290
12. 戦略的環境研究 ～「環境」という「大海原」での「航海術」を身につけませんか？～	292
13. ソフトウェア学 ～ソフトウェアの神髄を学ぶ～	294
14. 台湾研究 ～南の隣人：“不思議な”台湾を知ろう！～	296
15. 知財コミュニケーション ～知的財産は、現代社会のキーワード～	298
16. 地中海文化 ～海が世界を結びつけている—地中海のネットワーク研究～	300
17. 中国研究 ～中国像のパズルを創ろう！自分のピースを求めて知的冒険へと繰り出そう！～	302
18. データ解析 ～データから有益な情報を抽出するのはコンピュータですか、あなたの解析力ですか～	304
19. 都市・地域研究 ～都市・地域の環境・社会・経済・文化を読み解き、未来をデザインする～	306
20. 日本語教育学研究 ～日本語を教えることと学ぶこと～	308
21. 人間の生命科学～人間を知ろう、命を知ろう～	310
22. 平和学 ～平和は、単に戦争のない状態ではない～	312

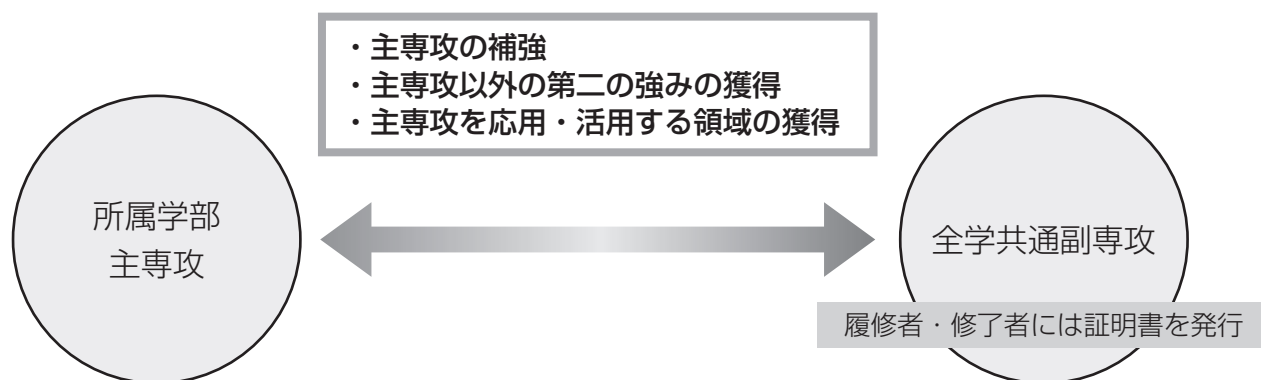
第1章 全学共通副専攻を知る

I. 全学共通副専攻について

1. 全学共通副専攻とは

全学共通副専攻とは、学部生であれば学部や学年を問わず誰でもチャレンジすることのできる副専攻制度です。所属する学部で主専攻の学問を学びながら、同時にその他の学問分野を体系的に学ぶことが出来ます。全学共通副専攻の制度を利用することで①主専攻の補強②主専攻以外の第二の強みの獲得③主専攻を応用・活用する領域の獲得などを可能とし、同時に独自の専門性の開拓を後押しする機会ともなります。全学共通副専攻履修者・修了者には証明書が発行されるため、対外的・社会的にも自分の取り組みを証明することも出来ます。また、他学部の学生と相互に刺激し合うことで広い視野の獲得や人的ネットワークの形成にも役立ちます。

オープン教育センターは、全学共通副専攻を上手に活用することで、みなさん一人ひとりが能力を最大限に発揮し、個性溢れる人材として社会で活躍できることを期待しています。



2. 副専攻とは

全学共通副専攻で用意されているさまざまな学問領域を「副専攻」と呼びます。時代や社会の変化に即した視点に基づく分野、今後重要性を増す分野、従来の学問体系にとらわれない分野など22の魅力ある副専攻を設定しています。修了演習科目（修了論文、課題制作）を課す副専攻や、インターンシップを推奨している副専攻などもあり、理論だけではなく実践も取り入れながら総合的に学修することを目指しています。詳細は8ページ以降に記載してありますので、興味・関心に合うテーマの副専攻を選択してみましょう。

3. 指定科目とは

副専攻にはテーマに即した科目のラインナップが用意されています。みなさんが修了を目指して履修する科目を「指定科目」と呼びます。指定科目はさらに「コア科目」と「選択科目」に区別されており、コア科目は副専攻内の選択必修となっている重要な科目、選択科目はそれ以外の科目のことを指します。全学共通副専攻は全学部生がチャレンジできる制度であるため、指定科目はオープン教育センター設置科目や、学部等提供オープン科目で構成されています。

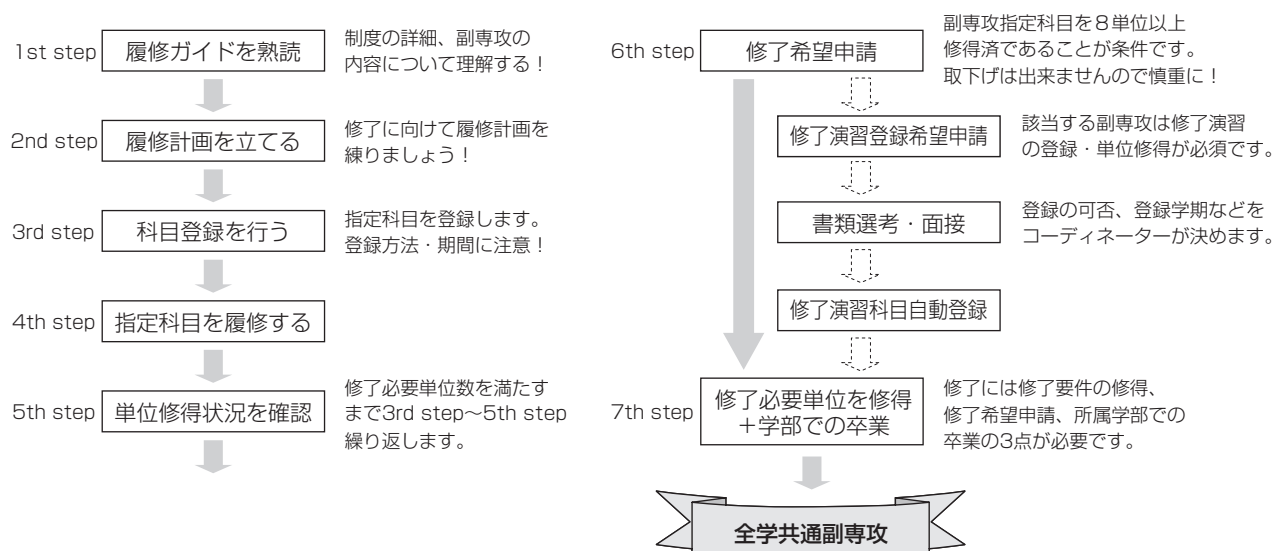
4. 修了必要単位数とは

各副専攻では、修了のために必要な単位数が定められています。その単位数を修得しないと、副専攻修了とは認定されません。修了必要単位数は副専攻によって異なる他、コア科目で修得が必要な単位数と、選択科目で修得が必要な単位数とに分かれます。また、履修必須科目を設けている副専攻もありますので、修了必要単位数と併せて指定科目をよく確認し、履修計画を立てるようにしてください。

5. コーディネーターとは

各副専攻にはコーディネーターと呼ばれる教員がいます。コーディネーターは副専攻の運営、指定科目の選定を行なうほか、学生のみなさんの相談を受けたり、指導を行なう存在です。全学共通副専攻の修了を目指す中で困ったことがあった場合には、コーディネーターに相談をしましょう。各副専攻のコーディネーターは8ページの一覧で確認してください。

II. 全学共通副専攻履修方法について



【基本ルール】 まず確認しましょう！

1. 科目登録時に修了希望者に対する優遇措置はありません
2. 修了必要単位は学部での卒業単位算入とは関係ありません
3. 2006年度以前に修得した単位は無効です
4. 修了には事前の「修了希望申請」が必要です
5. 「修了希望申請」を行なうためには該当副専攻の単位を8単位以上修得済であることが条件です

1. 履修を開始するには

履修を開始するにあたり、特に必要な資格や条件などはありません。学部学生であれば誰でも全学共通副専攻の履修が始められます。まずは本紙を熟読し、全学共通副専攻制度全体の仕組みや各副専攻の特徴などを理解してください。そのうえで興味のある副専攻の指定科目を登録・履修しましょう。それが全学共通副専攻履修の第一歩です。

2. 科目登録について

科目登録は、**すべて学部やセンターで決められた登録期間、登録方法にしたがいます**。全学共通副専攻の指定科目だからといって特別な登録期間、登録方法はありません。ただし、指定科目にはさまざまな科目が含まれています。科目の設置箇所によって登録期間、登録方法が異なる場合がありますので、よく確認するようにしてください。



科目登録において全学共通副専攻履修者が**優先的に登録されることは一切ありません**。選外になることもありますので科目の選考方法（書類選考 or 抽選）をよく確認し、履修計画を立てるようにしましょう。

3. 単位の修得・算入について

履修後、単位が修得できた指定科目については、修了必要単位に算入されます。修得できた単位を確認し、不足分を再度次の科目登録時に登録するようにしてください。



修了必要単位は、**学部での卒業単位算入とは関係ありません**。単位が修得できれば修了必要単位として認定されます。



全学共通副専攻制度開始前である**2006年度以前に修得した単位は認定されません**。2007年4月1日以降に修得した単位から有効になります。



高校生特別聴講制度により大学入学前に修得した指定科目の単位は、修了必要単位として算入できません。

4. 修了希望申請について

春学期修了希望申請期間：3月22日（火）9：00～4月18日（月）17：00

秋学期修了希望申請期間：7月中旬にオープン教育センター Web ページで発表します。

全学共通副専攻の修了には**修了希望申請が必須です**。修了希望申請は申請期間内に Waseda-net ポータルの申請フォーム入力画面から行ないます。申請には該当副専攻の指定科目の中から**8単位以上の単位を修得していることが条件**です。また、修了希望申請は取り下げができませんので、修了の可能性や計画などを十分に検討したうえで申請を行なってください。



副専攻指定科目の修得状況が8単位に満たない場合は**申請は取下げとなります**。8単位以上修得ができてから再度修了申請を行なって下さい。

5. 修了演習登録希望申請について

春学期修了演習希望申請期間：3月22日（火）9：00～4月18日（月）17：00

書類選考・面接：4月19日（火）～4月22日（金）17：00

秋学期修了演習希望申請期間：7月中旬にオープン教育センター Web ページで発表します。

以下の副専攻では修了にあたって**修了演習を修得することが必須です**。

「感性文化学・美学」「ことばの科学」「知財コミュニケーション」「地中海文化」「都市・地域研究」

修了演習は副専攻修了のしめくりとして、論文や課題作成に取り組むものです。各副専攻の指定科目単位を概ね修得し、修了の見通しが立った段階で履修するようにしましょう。

「全学共通副専攻修了演習」を履修するには、Waseda-net ポータルの左メニュー「システム・サービス」内にある申請フォームから登録の申請をしてください。登録希望者に対して、コーディネーターによる書類選考、面接などを行ない、合格することが履修の条件となります。それまでの修得単位数や履修計画、論文構想などを中心に選考を行ないます。合格者については、オープン教育センターが自動登録を行ないますので、科目登録の手続きは必要ありませんが、その他の科目で登録制限単位数の上限に達している場合には登録ができないことがありますので、注意するようにしてください。

6. 修了の条件について

全学共通副専攻の修了を認定されるためには以下の3点を満たす必要があります。

- ① 各副専攻で定められた修了要件を満たしていること
- ② 修了希望申請を行なっていること
- ③ 所属学部で卒業が認定されること

たとえ副専攻の修了要件を満たしていても、所属学部で卒業ができなければ修了とはなりません。また修了要件を満たし、卒業できたとしても、事前に修了希望申請を提出していない場合には修了として認定されませんので注意して下さい。



修了者に対しては卒業時に**「修了証明書」**を発行します。また、修了希望申請を行なった方には証明書発行時点での単位修得状況を証明する**「単位修得証明書」**を発行します。詳細については修了希望申請者へのメールおよびオープン教育センター Web ページ (<http://open-waseda.jp/>) にてお知らせしますので確認して下さい。

7. その他

- ① コア科目を必要単位数以上修得した場合は、選択科目の単位として自動的に振替えます。
- ② 複数の全学共通副専攻を修了することが可能です。また、全学共通副専攻と学部副専攻を両方修了することが可能です。

Ⅲ. Q & A

Q. コア科目と選択科目は、どちらから履修するのですか？

A. コア科目と選択科目はどちらから履修しても、問題ありません。ただし、テーマカレッジの演習科目は1、2年生優先科目ですので、コア科目や選択科目に指定されている場合には1、2年生時に履修することをお勧めします。なお、全学共通副専攻修了希望者が、登録や選考の際に優先されることはありません。

Q. 副専攻を途中から変更しても問題ありませんか？

A. 全学共通副専攻修了希望申請を行なう前であれば、変更はできます。ただし、修了希望申請は一度提出したら取下げることができませんので、よく検討したうえで提出するようにしてください。

Q. コア科目を副専攻指定の必要単位数以上履修した場合の単位数の取り扱いは、どうなりますか？

A. 必要単位数以上修得したコア科目の単位数は、選択科目の単位として自動的に振替えられます。

Q. 過去に履修した科目の単位は認められますか？

A. 2007年4月1日以降に修得した単位であれば有効となります。ただし、2006年度までに修得した科目の単位は認定することはできませんのでご注意ください。

Q. 論文や課題制作が課されている副専攻の「修了演習科目」の登録はどのように行なえばよいのですか？

A. 修了演習科目が課されている副専攻では、「修了演習科目登録希望申請」を行なった後、4月21日(火)～4月24日(金)に書類選考や面接があります。その選考で受講可能と認められた学生には、修了演習科目が自動登録されます。よって、修了演習科目の履修を希望する場合は、科目登録時に登録制限単位数を超えないように(修了演習科目の単位数分を残して)登録を行なってください。なお、「修了演習科目」は教員による論文指導等ですので、曜日・時限の指定はありません。

Q. 修了演習科目を登録する前の書類選考や面接は、どういうことを行なうのですか？

A. 書類選考や面接は、春学期または秋学期に修了演習科目を履修できるかどうかを判断するために行ないます。そのため、春学期に修了演習科目の登録を希望していても、副専攻として、秋学期または翌年度の登録を指定する場合があります。

Q. 複数の全学共通副専攻を、修了することはできますか？

A. 複数の副専攻を修了することができます。

Q. 複数の副専攻で指定科目となっている科目の単位を修得しました。この場合単位の扱いはどうなりますか？

A. 複数の副専攻の修得単位として認定されます。

Q. 全学共通副専攻を1年間で修了することはできますか？

A. 修了に何年間かかるかについての制限はありません。1年間で修了必要単位を全て修得できれば修了資格を得ることができます。4年間かけて修得しても同様です。ただし、最終的な「修了」は卒業が決定した時点となりますので注意してください。

Q. 3年生までに修了した時には、すぐに証明書がもらえますか？

A. 修了証明書は、卒業年度の卒業発表以降に発行します。修了希望申請を行なった方には、証明書発行時点での単位修得状況を証明する「単位修得証明書」を発行します。3年生時に就職活動等で証明書が必要な場合は、修了希望申請を済ませておく必要があります。

Q. 2010年度以前に修了申請を行ない、修了できなかった場合、2011年度に再度修了申請を行なう必要はありますか？

A. 一度行なった申請はそのまま継続しますので、2010年度以前に申請を行なったが修了できなかった、という場合に再度修了申請を行なう必要はありません。ただし、修得単位数が8単位未満で、申請不受理となった場合には再度修了申請を行なう必要があります。

第2章 全学共通副専攻 各副専攻 紹介

	副専攻名	コーディネーター（※代表者）	所 属
1	EU・欧州統合研究	福田 耕治 ※ 中村 英俊 片岡 貞治	政治経済学術院 政治経済学術院 国際学術院
2	イスラーム地域研究 ※New!	佐藤 次高 ※ 北村 歳治 湯川 武	文学学術院 国際学術院 イスラーム地域研究機構
3	映画・映像	安藤 紘平 ※ 武田 潔 河合 隆史	理工学術院 文学学術院 理工学術院
4	英語と異文化理解	中野 美知子 ※ 保崎 則雄 飯野 公一	教育・総合科学学術院 人間科学学術院 国際学術院
5	オーストラリア研究	宮崎 里司 ※ 澤田 敬司 前田 耕司	国際学術院 法学学術院 教育・総合科学学術院
6	感性文化学・美学	酒井 紀幸 ※ 大久保 良峻 桜井 洋	文学学術院 文学学術院 国際学術院
7	国際協力	大門 毅 ※ 黒田 一雄 勝間 靖 中村 英俊 松岡俊二 阿古 智子	国際学術院 国際学術院 国際学術院 政治経済学術院 国際学術院 国際学術院
8	ことばの科学	匂坂 芳典 ※ 中野 美知子 原田 康也 近藤 真理子	理工学術院 教育・総合科学学術院 法学学術院 国際学術院
9	コリア研究	李 成市 ※ リーマージ クリスティン 布袋 敏博 鄭 根珠 李 美江	文学学術院 国際学術院 国際学術院 オープン教育センター 文学学術院
10	ジャーナリズム／メディア文化 ※New!	花田 達朗 ※ 藁谷 友紀 伊藤 守 岩渕 功一 神尾 達之	教育・総合科学学術院 教育・総合科学学術院 教育・総合科学学術院 国際学術院 教育・総合科学学術院
11	社会貢献とボランティア ※New!	中川 武 ※ 兵藤 智佳 岩井 雪之 秋吉 恵 加藤 基樹	理工学術院 ボランティアセンター ボランティアセンター ボランティアセンター ボランティアセンター
12	戦略的環境研究	吉田 徳久 ※ 榊原 豊 中村 英俊 友成 真一 納富 信	理工学術院 理工学術院 政治経済学術院 理工学術院 理工学術院
13	ソフトウェア学	深澤 良彰 ※ 筧 捷彦 山名 早人	理工学術院 理工学術院 理工学術院

	副専攻名	コーディネーター（※代表者）	所 属
14	台湾研究	梅森 直之 ※ 浅古 弘 江 正殷	政治経済学術院 法学学術院 留学センター
15	知財コミュニケーション	並木 秀男 ※ 清水 功雄 御子柴 善之 藤本 暁一 加藤 尚志 平沢 泉 梅津 光生 田村 泰一	教育・総合科学学術院 理工学術院 文学学術院 総合研究機構 教育・総合科学学術院 理工学術院 理工学術院 国際学術院
16	地中海文化	丸野 稔 ※ 宮城 徳也 M. M. パルヴェーレスコ 酒井 紀幸	文学学術院 文学学術院 商学学術院 文学学術院
17	中国研究	劉 傑 ※ 青山 瑠妙 江 正殷	社会科学総合学術院 教育・総合科学学術院 留学センター
18	データ解析	松嶋 敏泰 ※ 瀧澤 武信 高橋 敬隆	理工学術院 政治経済学術院 商学学術院
19	都市・地域研究	早田 幸 ※ 佐藤 滋 有賀 隆 佐々木 葉	社会科学総合学術院 理工学術院 理工学術院 理工学術院
20	日本語教育学研究	川上 郁雄 ※ 宮崎 里司 細川 英雄	国際学術院 国際学術院 国際学術院
21	人間の生命科学	山内 兄人 ※ 内田 亮子 永島 計 清水 功雄 加藤 尚志	人間科学学術院 国際学術院 人間科学学術院 理工学術院 教育・総合科学学術院
22	平和学	多賀 秀敏 ※ 奥迫 元 大西 泰博	社会科学総合学術院 社会科学総合学術院 社会科学総合学術院

【科目一覧確認時の注意事項】

指定科目の一覧にある学期・曜日・時限等は2011年2月20日時点の情報です。変更点が生じる可能性がありますので、科目登録前には必ずオープン教育センター Web ページ (<http://open-waseda.jp/>) の科目一覧等で最新の情報を確認するようにしてください。

備考欄の記載事項

新 設…2011年度から新設され、指定科目として追加された科目です。

追 加…2011年度より指定科目として追加になった科目です。

取下げ…指定科目となっていましたが、2012年度から指定科目の取り下げを予定している科目です。2011年度までに単位を修得していた場合には、修了単位として認定できます。

EU・欧州統合研究

Understanding the European Union Studies

欧州統合は、共存のための壮大な歴史的実験

設置の趣旨・概要

EU（欧州連合）をモデルにして、グローバル・ガバナンスに求められる国際政治・経済・法・社会秩序の姿を探り、その特質や問題点を解明し、最新の動向をキャッチしつつ、欧州の地域統合現象を多角的、学際的に学びます。

EUは、2004年5月には中東欧諸国10カ国を取り込んで25加盟国、2007年には27加盟国へと拡大しました。

しかし2005年5月、6月のフランス、オランダにおける欧州憲法条約、2008年6月のリスボン条約の批准を問うアイルランドの国民投票でも、相次いで否決されました。それは、何故でしょうか。欧州諸国は一方では、欧州統合を進め、他方では統合を頓挫させます。各国の指導者や国民は、そこにどのような意義と国益を見出そうとしているのでしょうか。本副専攻では、EUおよび加盟国の統治機構や、EU国際公共政策と国内公共政策との連動を図る「欧州ガバナンス」のあり方を検討します。たとえば、EUの効率性と民主的正統性、アカウンタビリティ（説明責任）の確保などを論じ合い、また、2009年12月「リスボン条約」の発効に伴い、市民社会に開かれた国際政治・経済・法・社会制度の構築やEUの国際公共政策について、具体例を通じて基礎から学び、考えます。

履修モデル

体系的なEUに関する知識を身につけるため、講義科目を設置し、EUを専門とする複数の専任教員が、政治・経済・法律・社会・文化などの学際的観点から講義します。この講義科目や講演会では、専任教員に加え、数名の国内外のEU専門家も講演者として招聘し、オムニバス方式をとって多角的に展開します。演習科目では、EUに関する知識の習得だけではなく、自ら調べ、まとめ、発表し、議論するといった大学における専門的研究のツールとなる学習・研究方法の基礎についても学びます。指定科目となっているテーマカレッジ演習科目では、テーマカレッジ合同演習や合同ワークショップ、国際シンポジウム、内外のEU研究者を招いて本副専攻全体の講演会などを開催し、また、適宜、休暇中にゼミ合宿などの全体活動を行なう場合もあります。

コア科目は必ず4単位以上、選択科目は、12単位以上修得しなければなりません。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	修了時にEUに関する専門的知識を得て、国際ビジネスマン、内外の大学院・欧米の欧州研究副専攻に進学可能なレベルに至っている。	・修了後、EU欧州統合に関する専門書や研究論文を英語、フランス語、ドイツ語等で読みこなしていく力をつける。 ・欧州諸国での国際ビジネスや国際公務員、EU研究者としての進路が展望できるであろう。

学生へのメッセージ

本副専攻は、欧米諸大学に設置されているEuropean Studiesの副専攻にも匹敵する欧州統合研究副専攻です。欧州の諸大学で研究経験をもつEU専門の研究者から直接指導を受け、EU研究入門から、法、政治、経済、社会、歴史、教育、文化、科学技術等の専門分野別のEU研究にいたるまで、段階的、継続的、体系的に学習できる、わが国の大学では最も充実したEU欧州統合研究講座となっています。将来、国際ビジネスや国際機関などで活躍したい人、欧米のEuropean Studies副専攻への留学希望者や、内外の大学院に進み、EU・欧州統合研究をさらに発展させたいと考えている学生諸君にとっては特に役立つ内容です。学生諸君の積極的な参加を期待しています。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	EU・欧州統合研究	福田 耕治 他	1年以上	秋学期	フルオンデマンド		2		履修必須
2	オープン	講義	EU政治経済統合のガバナンスと国際公共政策	福田 耕治 他	1年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	EU科学技術政策	中島 啓幾 他	1年以上	秋学期	水4時限	西早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU/欧州統合研究入門	福田 耕治	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2	○	
5	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU国際公共政策の比較研究	福田 耕治	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2	○	
6	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUとNATO	片岡 貞治	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2	○	
7	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUとアフリカ諸国	片岡 貞治	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	
8	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	欧州統合の歴史	森原 隆	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2		
9	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	European Integration and Foreign Policy	ベーコン ポール・マルティン	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
10	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUと旧ユーゴスラビア紛争	久保 慶一	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
11	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUの対バルカン政策	久保 慶一	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
12	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU法の歴史	中村 民雄	1年以上	春学期	木1時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
13	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU共通外交・安全保障・防衛政策		1年以上				2		休講
14	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUと日本の政治関係		1年以上				2		隔年休講

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	フランスの新聞で読むEUの現在	岡山 茂	1年以上	春学期	火4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠8名
2	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	ヨーロッパとは何か	森原 隆	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU共通農業政策と東方拡大	弦間 正彦	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUにおける人の移動と保健医療政策	福田 八寿絵	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠8名
5	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU統合とフランス文化		1年以上				2		休講
6	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EU諸国の経済政策		1年以上				2		休講
7	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	北欧の研究		1年以上				2		休講
8	政経	学部提供	国際行政学A 01 ※	福田 耕治	3年以上	春学期	金4時限	早稲田	2		
9	政経	学部提供	国際行政学B 01	福田 耕治	3年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2		
10	政経	学部提供	国際機構論 01	秋山 信将	3年以上	春学期	水1時限 水2時限	早稲田	4		
11	政経	学部提供	社会文化研究 (ドイツ語) 春学期 (縣・室井)	縣 公一郎 他	2年以上	春学期	火2時限	早稲田	2		
12	法	学部提供	EU法 I	須網 隆夫	3年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
13	法	学部提供	EU法 II	須網 隆夫	3年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
14	法	学部提供	外国法特論 (英米法) I B	中村 民雄	3年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		
15	法	学部提供	外国法特論 (英米法) II B	中村 民雄	3年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
16	教育	学部提供	政治学 I (国民国家とグローバル化)	久邇 良子	1年以上	前期	金3時限	早稲田	2		
17	社会学	学部提供	EU地域研究 1	坪郷 實	1年以上	前期	火4時限	早稲田	2		
18	社会学	学部提供	EU地域研究 2	坪郷 實	1年以上	後期	火4時限	早稲田	2		
	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUの社会政策						2		廃止、取下げ

※政治経済学部の学生は「国際行政論01」（政治経済学部設置科目）を履修すること

イスラーム地域研究

Islamic Area Studies

現代のイスラームとムスリム社会の政治・歴史・文化などを幅広く理解する。

設置の趣旨・概要

地域研究とイスラーム学の統合をはかる「イスラーム地域研究」の成果を教育に反映させることにより、

- ① 現代世界の重要な構成要素であるイスラームとムスリム諸国/社会についての理解を深める。
- ② 現代的諸事象の背景にある歴史を含めてより基礎的な知識や文化を含む幅広い分野にも目を向ける。

履修モデル

履修必要科目以外に、テーマカレッジ「イスラーム地域研究」に含まれる科目はできるだけ履修することが望ましい。その他のオープン科目は履修者各人の知的関心に沿って幅を広げていくことが望ましい。

コア科目は必ず6単位以上、選択科目は、12単位以上修得が必要である。

学生へのメッセージ

少人数による密度の高い授業を目指すとともに、履修者各人の自発的な学習・研究、および活発な討論や発言を期待する。そのために必要な支援を担当教員は積極的に行なうつもりである。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（コア科目6単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	イスラームとは何か	西村 淳一	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	イスラーム史概説	西村 淳一	1年以上	春学期	金2時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究入門（イスラーム地域研究基礎演習）	西村 淳一	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2	○	上級生優先枠8名
4	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究入門（中東地域研究）	鈴木 恵美	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		
5	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究入門（中央ユーラシア地域研究）	野田 仁	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2	○	
6	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラームの歴史と文化入門（イスラーム都市史と建築史）	深見 奈緒子	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2	○	
7	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラームの歴史と文化入門（イスラームと歴史的諸文明）	保坂 修司	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
8	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究入門（イスラームとユーラシアの東西）	北村 歳治	1年以上	春学期	水5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠8名

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究応用（ユーラシアにおける東西問題と現代のイスラーム）	北村 歳治	1年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠8名
2	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラームの歴史と文化応用（地中海地域のイスラーム）	吉村 武典	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム地域研究応用（パレスチナ問題）	鈴木 恵美	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラームの歴史と文化応用（イスラームと西洋文明）	保坂 修司	1年以上	秋学期	月5時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
5	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラームの歴史と文化応用（イスラーム建築論）	深見 奈緒子	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2	○	
6	オープン	テーマカレッジ (イスラーム地域研究)	イスラーム研究応用（現代イスラームの諸相）	吉村 武典	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	
7	社会学	学部提供	世界人口移動論Ⅰ	小島 宏	1年以上	前期	水2時限	早稲田	2		
8	社会学	学部提供	世界人口移動論Ⅱ	小島 宏	1年以上	後期	水2時限	早稲田	2		「Ⅰ」を習得済であること
9	人科	学部提供	イスラーム社会論	岡井 宏文	1年以上	秋学期	月2時限	所沢	2		
10	人科	学部提供	社会開発論	店田 廣文	1年以上	春学期	月2時限	所沢	2		
11	国際教養	学部提供	Islamic area studies		2年以上				2		休講
12	国際教養	学部提供	Contemporary issues in the Islamic world	桜井 啓子	2年以上	秋学期	水3時限 木3時限	早稲田	2		
13	文構	学部提供	イスラーム文化世界	佐藤 健太郎	1年以上	秋学期	月5時限	戸山	2		
14	文構	学部提供	アジア社会とイスラーム	野田 仁	1年以上	春学期	火3時限	戸山	2		
15	文構	学部提供	イスラームの知の伝統と革新	湯川 武	1年以上	春学期	月5時限	戸山	2		

映画・映像

Moving picture arts and sciences

映像で語る事は、半ば発明です

設置の趣旨・概要

映像の教育は、特定の学部を設けず、専門や学年に関わらず、映画・映像分野に関心ある学生が自発的に学習を積み重ねてゆく学習システムを基本とすることが望ましいと考えます。

教育方法は、“何を表現するか”と“どう表現するか”を主眼に置いた教育を行ないます。

前者に関しては、①「見方」を創る、②多様な人材との交流と議論を通して磨く、③自ら決定させる、の3点を重視します。現役監督や関係者との直接交流・全学部生が集まる少人数のゼミ教育などを組み合わせ、自律性や自己の世界観の創造をはかります。「表現方法」の教育には、①作品制作実習、②実務家による指導、③インターンシップ、などを実施します。

現場を知ることがきわめて重要であることから、通常の演習授業においても、実務家をより重視しながら教育を行ない、時には、撮影所などの現場演習も実施します。映像産業機構（V I P O）や映職連との連携によるインターンシップ制度を活用して、それらの実習経験も履修単位として認めます。

履修モデル

芸術表現分野と映像科学分野をバランス良く履修する履修モデルが必要です。基礎的な知識を涵養する科目をコア科目とし、それを基に多様な表現領域を広げる選択科目を学習し、将来は、できれば最終条件として作品制作、あるいは、プロデューサーにはプロデュース課題を課します。コア科目を2科目以上、それに選択科目を加えて、20単位以上の修得を条件とします。修了希望者数は、毎年約30名の希望者があると想定しています。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	修了時には、映画・映像の制作、プロデュース、デジタル技術に関する基本的な知識を習得する。	<ul style="list-style-type: none">・勉学的な展望：習得した知識に基づき、小作品であってもよいので、映像作品を制作してほしい。また、より専門的な教育を望むなら、大学院国際情報通信研究科の進学も考慮してもらいたい。・進路等の展望：映画・映像業界はもちろん、機会があれば、他業界でも映画・映像と間接的に関わり、側面からわが国のコンテンツ産業の振興に寄与してもらいたい。

学生へのメッセージ

映像のクリエイターのみでなく、プロデューサー志望の学生も受け入れます。ただし、プロデューサーの志望者も、過去の名画といわれるものから現在の映画まで、数多くの映画を見て、こんな映画を作りたいという情熱を持っていることが第一です。ましてや、クリエイター志望者は、自分の殻に閉じこもるのではなく、数多くの映画を見て、その良いところや気になるところ、悪いと思うところを検証し、インスパイアされ、自分のイメージの中に取り込むもよし、反面教師として参考にするもよし、いずれにしても、過去の映画こそが教科書です。その上で、私たちは、君たちが君たちの「何を表現したいか」のイメージを高める手伝いをするだけです。

本副専攻を履修した後、より専門を目指す諸君には、大学院国際情報通信研究科でのより専門的な教育が用意されています。

指定科目一覧

修了必要単位

20単位（コア科目4単位、選択科目16単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ（株）フジテレビジョン寄附講座	安藤 紘平 他	1年以上	春学期	土4時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	プロデューサー特論（株）フジテレビジョン寄附講座	安藤 紘平 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	京都・太秦スタジオと日本映画	安藤 紘平 他	1年以上	夏季集中	無その他		2	○	学外実習あり、9/5～9、実習費用5,000円（予定）
4	オープン	講義	シナリオ作法と映像基礎	加藤 正人 他	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2	○	
5	オープン	講義	映像との対話と創造 基礎 O1	安藤 紘平 他	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	
6	オープン	講義	映像との対話と創造 基礎 O2	安藤 紘平 他	1年以上	秋学期	月6時限	早稲田	2	○	
7	オープン	テーマカレッジ（アート [創造と鑑賞]）	映像で語る	元村 直樹	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	4	○	学外実習あり、上級生優先枠8名、8/3～6、8～10

★選択科目

修了必要単位 = 16単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	現代演劇入門	水谷 八也 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2		8/4～6、8～9
2	オープン	講義	21世紀日本の構想（発展編）（早稲田大学校友会寄附講座）	坪井 善明 他	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	21世紀日本の構想（基礎編）（早稲田大学校友会寄附講座）	坪井 善明 他	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	ジャーナリズム概論	花田 達朗 他	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	
5	オープン	講義	やさしい知的財産入門 O1	藤本 瞭一 他	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2	○	
6	オープン	講義	やさしい知的財産入門 O2	藤本 瞭一 他	1年以上	秋学期	水6時限	早稲田	2	○	
7	オープン	講義	舞台美術と演劇	竹本 幹夫 他	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		
8	オープン	講義	演劇・映像研究の最前線	竹本 幹夫 他	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
9	オープン	講義	映像の物語構造とその商品性	安藤 紘平 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2	○	
10	オープン	講義	ジャーナリズム演習 ベーシック	花田 達朗 他	2年以上	秋学期	火2-3	早稲田	4	○	自動登録
11	オープン	テーマカレッジ（越境する想像力）	視覚芸術と無意識	谷 昌親	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
12	オープン	テーマカレッジ（越境する想像力）	視覚芸術と身体性		1年以上				2		休講
13	オープン	テーマカレッジ（感性と文化）	アートと感性への導入	酒井 紀幸	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
14	オープン	テーマカレッジ（感性と文化）	アートと感性の研究	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
15	オープン	テーマカレッジ（感性と文化）	音楽の感性	小沼 純一	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
16	オープン	テーマカレッジ（感性と文化）	イメージと感性への導入	小林 信之	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	○	
17	オープン	インターンシップ	インターンシップ実習 O5（個人申請）	東出 浩教	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2		キャリアセンターに個別申請
18	オープン	インターンシップ	インターンシップ実習 O6（個人申請）	東出 浩教	1年以上	春学期	土4-5	早稲田	2		キャリアセンターに個別申請
	オープン	講義	大隈塾演習：ジャーナリストの心構えと実践						4		廃止、取下げ
	オープン	テーマカレッジ（身体・環境・映像）	立体映像表現						4		廃止、取下げ

英語と異文化理解

English and Cross-Cultural Understanding

海外大学の学生と英語で話し、生の声を聞こう

設置の趣旨・概要

海外大学の学生、特にアジア太平洋地域の若者たちと交流し、共に学び、友情を深めていくことは、これからの社会を担っていく上で大変貴重なことです。本副専攻は、海外提携校の教室とテレビ会議システムで回線をつなぎ、お互いの文化や社会問題についてプレゼンテーションやディスカッションを行なう授業を中心に据えています。英語での質の高い議論を可能にするため、アジア英語の理解、プレゼンテーション技術の習得、発想力と思考力の強化、ディベート力の向上など、次世代を担う国際的リーダーとなるのに必要な素養を体系的に習得できるようになっています。選択科目としては、英会話基礎力をつけるためのTutorial English、異文化理解とより実践的な英語コミュニケーション力をつけるためのCross-Cultural Distance Learning (CCDL)、および英語で学ぶ教養科目を設置しています。学生はこれら選択科目の中から自分に足りないスキルや興味関心にしたがって履修し、異文化理解と英語コミュニケーションの基礎および教養を身につけることが求められます。

履修モデル

本副専攻は海外大学の学生との質の高い交流を目指しているため、英語で積極的に発言することが求められます。英語に自信のない学生はまず第1ステップとしてTutorial Englishを繰り返し受講し、会話力をつけましょう。Tutorial Englishで自信がつけば、第2ステップは実践的な異文化交流です。Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) では音声チャットシステムを使って、海外学生の顔を見ながら少人数でディスカッションを行ないます。議論したいテーマに従って3つの副専攻に分かれていますので、3つとも受講すればより広い知識と経験を得ることができます。第3ステップは、テレビ会議システムを使って海外提携校の教室と共に学習する、サイバーゼミやサイバーレクチャーに挑戦しましょう。グローバルリテラシー演習やWorld Englishes and Miscommunicationsがこれにあたります。これら3つのステップをベースとして、他に身に付けたい知識や技術を自分の興味関心にしたがって選択することができます。英語の読み書き能力を強化したり、伝達能力を磨いたり、英語圏の文化について英語で学んだりできる授業がそろっています。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	自国の社会や文化を英語で説明できるようになる。常識や価値観の異なる文化の人々とうまくコミュニケーションをはかるための姿勢が身につく。	副専攻を通じて友達になった海外の学生と、チャットなどで引き続き交流を続けるとよい。将来、海外とのやりとりを必要とする仕事につく人には為になるだろう。

学生へのメッセージ

海外の学生と交流したいと思っても、なかなかその機会に恵まれない人は多いと思います。また、留学したくてもできない人もいるでしょう。本副専攻は、日本にいながらにして海外の学生と顔を合わせて交流する授業や、すべて英語で行なわれる授業がそろっています。また、年度末にはこれまでテレビ会議システムを通して顔を合わせていた海外の学生たちが一斉に集う場を設けようとしています。

考え方の違う文化の学生たちが一緒に学び、お互いを理解しようとすることによって、将来共に協力しあえる友好関係を築く礎石となることを願います。

指定科目一覽

修了必要単位

18単位 (コア科目6単位、選択科目12単位) 以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	グローバルリテラシー演習基礎	根岸 純子	1年以上	春学期	金1-2	早稲田	4		
2	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	グローバルリテラシー演習応用	根岸 純子	1年以上	秋学期	金1-2	早稲田	4		
3	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	社会言語学入門	飯野 公一	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	英語ディベート演習基礎	松坂 ヒロシ	1年以上	春学期	木6時限	早稲田	2		
5	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	英語ディベート演習応用	松坂 ヒロシ	1年以上	秋学期	木6時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	プレゼンテーションの応用: マイクロプレゼンテーションで織える	保崎 則雄	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
7	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	World Englishes and Miscommunications (基礎)	近藤 悠介	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		上級生優先枠3名
8	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	World Englishes and Miscommunications (応用)	中野 美知子	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
9	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	英語を使いこなすためのネットコンテンツ活用術基礎O1・O2	マスワナ 紗矢子	1年以上	春学期	※	早稲田	2	○	新設
10	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	英語を使いこなすためのネットコンテンツ活用術応用O1・O2	マスワナ 紗矢子	1年以上	秋学期	※	早稲田	2	○	新設
11	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	社会言語学応用		1年以上				2		休講
12	オープン	テーマカレッジ (国際コミュニケーション)	異文化コミュニケーション実践		1年以上				2		休講
★語学科目 コア・選択合計8単位まで											
13	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	General Tutorial English (中級)	中野 美知子 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
14	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	General Tutorial English (準上級)	中野 美知子 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
15	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	General Tutorial English (上級)	中野 美知子 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
16	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Discussion Tutorial English (中級)	中野 美知子	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
17	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Discussion Tutorial English (上級)	中野 美知子	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
18	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (International Career Path)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
19	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (Media)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更
20	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (Social and Global Issues)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		選択科目からコア科目に変更

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	地球・地域学のすすめ	池田 雅之	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
2	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	日本地域文化研究	古賀 勝次郎	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	フランス・ブルターニュ研究	大場 静枝	1年以上	春学期	木5時限	早稲田	2		上級生優先枠7名
4	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	東欧・中央アジア研究	弦間 正彦	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		上級生優先枠1名
5	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	ラテンアメリカを知る・ラテンアメリカから考える	畑 恵子	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	異文化理解トレーニング		1年以上				2		休講
7	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	シェイクスピアのことばと文化		1年以上				2		休講
8	オープン	テーマカレッジ (国際言語文化研究)	北欧の研究		1年以上				2		休講
★語学科目 コア・選択合計8単位まで											
9	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Listening, Reading & Writing through the Internet (Culture & Business) (中級)	大矢 政徳 他	1年以上	春学期/秋学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
10	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Listening, Reading & Writing through the Internet (Culture & Business) (上級)	ラヴェル ドーン	1年以上	春学期/秋学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
11	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Foundations of English (初級)	ミュライゼン ヴィクトリア	1年以上	春学期	火2時限 金2時限	早稲田	2		
12	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Foundations of English (中級)	ミュライゼン ヴィクトリア	1年以上	秋学期	火2時限 金2時限	早稲田	2		
13	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Business Tutorial English (ビジネス実践編) (中級)	中野 美知子 他	1年以上	※	※	早稲田	2		
14	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Business Tutorial English (ビジネス実践編) (上級)	中野 美知子 他	1年以上	※	※	早稲田	2		
15	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Business Tutorial English (アデレード大学) (超上級)	ニューエル アントニー	1年以上	※	※	早稲田	2		
16	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Advanced English Plus: Projects on Contemporary Topics	中野 美知子	1年以上	春学期/秋学期	火2時限 木2時限	早稲田	2		
17	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Academic Writing through the Internet	ショウ ドナ	1年以上	春学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
18	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	English for Successful Presentations	ニューエル アントニー	1年以上	※	※	早稲田	2		
19	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Writing Scientific Papers: Paragraphs and Abstracts (Chemistry)	鹿又 宣弘	1年以上	春学期/秋学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
20	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Writing Scientific Papers: Paragraphs and Abstracts (Physics)	鹿又 宣弘	1年以上	春学期/秋学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Academic skills for study abroad (基礎・理論編)						2		廃止、取下げ
	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Academic skills for study abroad (応用・実践編)						2		廃止、取下げ

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覽」を確認してください。

オーストラリア研究

Australian Studies

オーストラリアから始まるグローバル化：あなたも探求しませんか

設置の趣旨・概要

今日、オーストラリアはわが国において最も身近な国の一つとなったが、「オーストラリア研究」は、近年その重要性を増しながらも、独立した学問体系として整備されてきたとは言いがたいと考えます。今回、副専攻化された「オーストラリア研究」は、オーストラリア研究を系統立てて教育する、日本では他に類を見ない試みです。受講者はオーストラリア研究を通じて、多文化主義、先住民研究、政治、福祉、環境、教育、文化、文学など、様々な学問領域を横断し、その領域の議論に接することになります。また、オーストラリアを知ることで、日本との比較や、日本との関わりなど、身近に存在する様々な問題を考えるきっかけになるでしょう。

履修モデル

履修するための条件は特に設けません。むしろ様々な学問分野を学ぶ学生が、オーストラリアについての関心を持ったときに、いつでも志すことのできる履修モデルとすることで、学際性を大切にしたいです。コア科目、選択科目は、現行のテーマカレッジオーストラリア研究演習科目が中心となり、選択科目内の講義科目でその関心を広げ、深めることができます。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	オーストラリア学を学ぶことにより、新しいアジア理解ができるようになるとともに、地域研究のグローバル化を見据える能力が獲得される	あるAPEC圏の理解を深めることにより、同じ圏内にある日本を振り返り、同時にそうした複眼的な捉え方を、今後の自己成長につなげるきっかけにする

学生へのメッセージ

観光地としても留学先としても注目されているオーストラリアは、2006年度のオーストラリア交流年を経て、これまで以上に身近な存在となりました。しかしながら、オーストラリアに関する体系的な地域、文化研究は、日本の大学機関ではほとんど行なわれず、教育環境の整備が待望されてきました。そうした現状を改善すべく、新たに設置された全学共通副専攻「オーストラリア研究」は、副専攻全体を副専攻化することにより、より体系化した学際研究分野として特徴づけました。また、単なる座学に留まらず、オーストラリア関連学会やセミナーへの参加、専門図書館への訪問、ゲストスピーカーによる講演など、アクティブな課外活動を取り入れながら、さまざまなアプローチによるオーストラリア理解を目指していくことを主眼にしています。受講生は、多面的なオーストラリアを学ぶことで、これまで以上に豪州通になってほしいです。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアの言語教育政策	宮崎 里司	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		
2	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアのマイノリティ文化と教育	前田 耕司	1年以上	春学期	木5時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアの文化 (入門)	澤田 敬司	1年以上	春学期	火4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアの文化 (応用)	澤田 敬司	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2	○	

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアの多文化共生社会	渡辺 幸倫	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2		
2	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアの歴史	ストックウェル グレン	1年以上	春学期	火3時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアとポスト・コロニアル (入門)		1年以上				2		休講
4	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアとポスト・コロニアル (応用)		1年以上				2		休講
5	オープン	Tutorial Englishと実践的な英語科目群	Business Tutorial English (アデレード大学) (超上級)	ニューエル アントニー	1年以上	春学期 / 秋学期	※	早稲田	2		
6	法	学部提供	地域文化1C (澤田)	澤田 敬司	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
7	法	学部提供	総合講座「英語圏を知る」	澤田 敬司 他	1年以上	春学期	火6時限	早稲田	2		
8	法	学部提供	English: Advanced 3 (春)	澤田 敬司	3年以上	春学期	月3時限	早稲田	1		
9	法	学部提供	English: Advanced 3 (秋)	澤田 敬司	3年以上	秋学期	月3時限	早稲田	1		
10	人科	学部提供	異文化間教育論	森本 豊富	1年以上	春学期	火4時限	所沢	2		
11	国際教養	学部提供	Introduction to Australian Studies		1年以上				2		休講
12	文	学部提供	世界地誌	増井 好男	1年以上	秋学期	水5時限	戸山	2		
	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	日豪交流史						2		廃止、取下げ
	オープン	テーマカレッジ (オーストラリア研究)	オーストラリアと都市社会学						2		廃止、取下げ

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覧」を確認してください。

感性文化学・美学

Study of Culture and Aesthetics

日常の中にあなたは何を発見しますか

設置の趣旨・概要

現代は、つねに新しい局面に対処していかなければならない時代です。目の前の1冊のマニュアルは、今日は役立っていても、明日には使いものにならなくなるかもしれません。だからこそ今ほどどんな状況にあっても的確に判断できる真の思考力が要求されている時代はない、といえるでしょう。そのためには、自分たちの生活の「根」を掘りおこし、根本から見直し、分析・総合することが必要とされます。この前提に立った上で、本副専攻では、思考力（問題発見能力や解決能力を含む）の開発と自己相対化の能力を磨くことを到達目標とし、1)メンタリティーと制度の問題、2)美意識と3つの「C」、つまり「コミュニケーション/コミュニティ/コンシャスネス」の問題、さらには3)異文化間の理解と解釈の方法論の問題、この3つを射程とする文化研究を行ないます。

履修モデル

- 1) コア科目は、10の演習・講義科目から成り立っています。そのうちの1つは修了論文作成のための修了演習科目（必須）です。必要単位は6単位以上、したがって履修者は、演習+講義（あるいは演習）+修了演習科目の3つをコア科目として選択することが望ましいでしょう。演習を選択することができなかった場合には、2つの講義科目と修了演習科目という組み合わせもあります。
- 2) そのほかに選択科目からは、自分の研究課題に応じて12単位以上修得してください。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	個々の専門的な知識のみならず、様々な領域の知や異文化を結びつける高度な応用的思考力とネゴシエーション力、さらには先見的な開発力を身につけることとなります。	・より高度な学術的研究を目指すことも、また現実の職場での展開も可能。 ・国内外の芸術・文化に関わる職種はもちろんのこと、サービスから専門職まで。

学生へのメッセージ

文化には色があります。日本社会だからこそ起こりやすいミス、事故、犯罪、日本人だからこそ受け入れやすい善、正義、美しさなど、出来事や事柄にはその背景にある文化の色がついています。その色を取り去ってしまうと、どれも同じように見えるのですが、本当のところ構造式は異なっているのです。どんなものごとについてであれ、それがおかれている歴史、風土、状況、コンテクストを無視しては語ることはできないわけです。ところが私たちは、つい自分の考えたことがどこにでも当てはまることであると考えがちです。他者理解のゆがみと判断の誤りはここに由来します。これは日常世界の1シーンから、外交関係にいたるまであらゆる局面についてあてはまります。

この副専攻で共有する時間と空間を通じて、「美」をキーワードとして、私たちのコンシャスネスを覚醒させ、これまで目で見ることのできなかったコミュニケーションとコミュニティのネットワークを実感しましょう。そこで質問です。階段を上るときにじっとその階段を眺めてみたことがありますか？電車から降りる人の流れを見て驚いたことがありますか？私たちの研究、それはごく日常的な光景からはじまります。そして最終的には問題の根となる文化的な背景を発見することになります。

私たちの副専攻では、積極的に海外に行くことをお勧めします。もちろんそのための助力も惜しみません。また国内・国外での共有できる場の提供も行ないます。たとえば、講義科目「感性と文化」は、ドイツでのそういった場であるといえます。また近隣アジア諸国への研修旅行も計画しています。もし可能であれば、そういった機会に皆さんもぜひ積極的に参加してください。

最後に、このようにして私たちが至りつくところとは、どこでしょう。表面的な「美しさ」や「醜さ」としては理解できない新たな価値の次元です。ありきたりの美しさではない「美しさ」を考えていくことになるわけです。「感性」の問題もそこであらたに問い直されるでしょう。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（コア科目6単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	感性への問いの射程	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	感性と文化	酒井 紀幸 他	1年以上	前期夏季	火3時限	早稲田	4		海外実習あり、350,000円(予定)
3	オープン	講義	文化の哲学	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	アートと感性への導入	酒井 紀幸	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
5	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	アートと感性の研究	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
6	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	東洋の感性への導入	大久保 良峻	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	
7	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	感性コミュニケーション	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木1-2	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
8	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	感性と死の問題の研究	堀内 正規	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
9	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(感性文化学・美学)01	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2		履修必須
10	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(感性文化学・美学)02	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2		履修必須

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	感性への問いの現在	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	美意識の比較研究	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	心と自然	桜井 洋	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	東洋の感性	大久保 良峻	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	○	
5	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	日本の古典文化における感性	陣野 英則	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠4名
6	オープン	テーマカレッジ(感性と文化)	感性と死の問題への導入	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
7	文構	学部提供	感性論	小林 信之	1年以上	春学期	木4時限	戸山	2		
8	文構	学部提供	芸術論	山本 恵子	1年以上	秋学期	水5時限	戸山	2		
9	文構	学部提供	生活環境美学	山本 恵子	1年以上	春学期	水5時限	戸山	2		
10	文構	学部提供	現代美学の射程	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
11	文構	学部提供	美の制度	小田部 胤久	1年以上	秋学期	月1時限	戸山	2		
12	文構	学部提供	愛の制度	酒井 紀幸	1年以上	春学期	火4時限	戸山	2		
13	文構	学部提供	<さらす/覆う>の構造学	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	木6時限	戸山	2		
14	文構	学部提供	食の文化	酒井 紀幸 他	1年以上	秋学期	木6時限	戸山	2		
15	文	学部提供	美学1	酒井 紀幸	1年以上	春学期	火5時限	戸山	2		
16	文	学部提供	美学2	山本 恵子	1年以上	秋学期	火5時限	戸山	2		
17	文	学部提供	仏教漢文の世界	大久保 良峻	2年以上	春学期	火2時限	戸山	2		
18	文	学部提供	漢文講読2	大久保 良峻	1年以上	秋学期	火2時限	戸山	2		
	オープン	講義	自然と文化	桜井 洋					2		廃止、取下げ

日本は何をすべきか、自分は何ができるか。

設置の趣旨・概要

「何故飽食の時代に飢餓がなくなるのか」「冷戦が終結したのに紛争が絶えないのはどうしてか」「学生としてできることはないか」こうした疑問に答えようとするのが、本副専攻の「国際協力」です。

国際協力はその性質上、理論、実践、政策の全領域に関わる領域であり、政治学、経済学、教育学、社会学、環境学など学際的な理解を必要とする分野です。本副専攻では、学内における国際協力に関する横の連携を図り、学生の学外活動や論文などとあわせ、学問横断的な国際協力の知識と経験を習得してもらうことを目的としています。本副専攻ではこれまで学内各箇所で提供されてきた国際協力に関する科目群を統合し、将来この分野で活躍しうる人材を育成することを目的とします。近年、海外でのNGO活動などの実践活動に積極的に参加する学生も増えていますが、関連する科目を見つけやすいように科目を提示しています。

履修モデル

コア科目・選択科目の中から各自の問題や関心に沿った科目履修を行ない、最終的に「全学共通副専攻論文」を書き上げます。優秀論文については国際協力機構・国際協力銀行などが主催する国際協力学生論文コンクールに応募させることを想定しています。コア科目の「国際協力演習」は国連大学が主催する「グローバル・セミナー」との共催であり、各大学との国際協力に関する知見を共有する場となっています。また、2007度から設置されている「インターンシップ実習（国際協力）」やボランティアセンター（WAVOC）から提供されるボランティア関連科目についても本副専攻の主旨と合致するものは、指定科目としています。

「国際協力入門」を必須としコア科目4単位以上、選択科目12単位以上の修得で修了としています。

コア科目は全学共通副専攻の基幹科目ですので、できるだけ多くの学生に履修してもらいたいです。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	「国際協力」に関する理論及び実践に対して主体的に取り組む準備ができている。	「国際協力」が自らの進路にとって持つ意味を理解した上で、自分の人生を切りひらく。

学生へのメッセージ

全学共通副専攻「国際協力」へようこそ。この科目を担当する教員は国際機関、政府機関、NGOなど、国際協力の実践の舞台で活躍してきた人たちがそろっています。私たちのフィールドでの経験を伝え、一人でも多くの学生諸君に国際協力を興味を持っていただくと思っています。特に、毎夏実施される「国際協力演習」（湘南合宿）は学外の人たちと触れ合う絶好の機会ですので是非参加してみてください。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	国際協力入門	大門 毅 他	1年以上	春学期	木6時限	早稲田	2		履修必須
2	オープン	講義	国際開発援助 理論と実践	秋吉 恵 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	国際協力の実践と理論	中村 英俊 他	1年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	国際協力実習	大門 毅	1年以上	夏季集中	無その他		2		9/1~4、海外実習あり、40,000円(予定)
5	オープン	インターンシップ	インターンシップ実習 02 (国際協力)	黒田 一雄	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2	○	

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	東南アジアの開発問題とNGOの役割	西村 正雄	1年以上	夏季集中	無その他		2	○	8/3~14、海外実習あり、26,000円(予定)
2	オープン	講義	持続可能な社会と市民の役割	高野 孝子 他	1年以上	通年	木5-6	早稲田	4	○	海外・国内実習あり、250,000円(予定)
3	オープン	講義	環境とボランティア	岩井 雪乃	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
4	オープン	講義	ボランティア論-入門と基礎理論-	兵藤 智佳 他	1年以上	春学期	金4時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	ボランティア論-体験の言語化-	岩井 雪乃 他	1年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2	○	
6	オープン	講義	インド"白い革命"から学ぶ途上国の農村開発	秋吉 恵	1年以上	前期夏季	火2時限	早稲田	2	○	
7	オープン	講義	カンボジアの文化遺産の保全と村づくりへの国際協力実習	中川 武 他	1年以上	夏季集中	無その他		2	○	9/2~14、海外実習あり、200,000円(予定)
8	オープン	講義	地球体験から学ぶ異文化理解		1年以上				4		休講
9	オープン	講義	コミュニティ論 (入門と基礎理論)		1年以上				2		休講
10	オープン	講義	NPO実践論		1年以上				4		休講
11	オープン	講義	コミュニティ論 (展開と実践)		1年以上				2		休講
12	オープン	テーマカレッジ (新しいアジア)を味わい知ろう)	東アジア共同体の形成に向けて		1年以上				2		休講
13	オープン	テーマカレッジ (EU・欧州統合研究)	EUとアフリカ諸国	片岡 貞治	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	
14	オープン	テーマカレッジ (東アジア研究)	中国報道の分析 (概論)		1年以上				2		休講
15	オープン	テーマカレッジ (平和学)	平和学入門	佐藤 幸男	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2		上級生優先枠6名
16	オープン	テーマカレッジ (平和学)	平和を支える技術	山崎 芳男	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2	○	
17	オープン	テーマカレッジ (平和学)	国際情報通信の発展と平和	加納 貞彦	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
18	オープン	テーマカレッジ (平和学)	民族問題と平和	長與 進	1年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2	○	
19	オープン	テーマカレッジ (平和学)	国際政治学と平和	奥迫 元	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	
20	オープン	テーマカレッジ (平和学)	歴史認識と平和	安藤 裕子	1年以上	春学期	金2時限	早稲田	2	○	
21	オープン	テーマカレッジ (平和学)	国際人権と平和		1年以上				2		休講
22	オープン	テーマカレッジ (ユネスコ)	技術活動 (文化を支える技術)	及川 靖広	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2	○	学外実習あり、上級生優先枠10名
23	オープン	テーマカレッジ (ユネスコ)	技術活動 (保存技術)	中川 武 他	1年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
24	オープン	テーマカレッジ (ユネスコ)	文化活動 (文明・文化の多様性と対話)	山崎 芳男	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
25	オープン	テーマカレッジ (ユネスコ)	文化活動 (文化遺産の現状<世界>)	近藤 二郎	1年以上	秋学期	木5時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
26	オープン	テーマカレッジ (ユネスコ)	文化活動 (世界遺産とそのマネージメントの諸問題)	西村 正雄	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2		
27	政経	学部提供	国際行政学A 01 ※	福田 耕治	3年以上	春学期	金4時限	早稲田	2		
28	政経	学部提供	国際行政学B 01	福田 耕治	3年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2		
29	政経	学部提供	国際機構論 01	秋山 信将	3年以上	春学期	水1時限 水2時限	早稲田	4		
30	政経	学部提供	地域文化研究 (中欧) 01	荻野 静男	2年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
31	教育	学部提供	地球システムと環境問題	澤口 隆	1年以上	後期	木1時限	早稲田	2		
32	社会学	学部提供	移行経済論 I	トラン ヴァン トゥ	2年以上	前期	月4時限	早稲田	2		
33	社会学	学部提供	移行経済論 II	トラン ヴァン トゥ	2年以上	後期	月4時限	早稲田	2		「I」を修得済であること
34	人科	学部提供	地球環境システム論	太田 俊二	1年以上	秋学期	火3時限	所沢	2		
35	人科	学部提供	アジア文化論	大沢 幸一郎	1年以上	春学期	火1時限	所沢	2		
36	人科	学部提供	イスラーム社会論	岡井 宏文	1年以上	秋学期	月2時限	所沢	2		
37	人科	学部提供	社会開発論	店田 廣文	1年以上	春学期	月2時限	所沢	2		
38	国際教養	学部提供	Social Development	大門 毅	2年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2		

※政治経済学部の学生は「国際行政論01」（政治経済学部設置科目）を履修すること。

ことばの科学

Language and speech science

みずみずしい「ことば」の科学は人間探求の道しるべです

設置の趣旨・概要

本学では、「ことば」に直接関連する学問分野は、各学部にもたがってたくさんあります。各学部でそれぞれ必要な「ことば」の教育を受ける機会がありますが、この副専攻では、分野横断的（トランスディスプリナリ）な「ことば」に関する事項を学習、研究します。「ことば」はヒトを特徴付ける人間の英知の結晶であり、その学問分野は多岐に渡っています。例えば、ロボットに人間のような音声言語処理機能を持たせるためには、歴史的に形成されてきた言語に関する伝統的な学問に加え、さらに多面的な理解が必要となってきます。伝統的な学問を学ぶものにとっても、違った立場から、これまでの学問を見直すことによって、その本質をより明確に捕らえられる可能性が広がります。ちょうど外国に出掛けると日本の姿が違って見えてくるように、新たな「ことば」の面白さ、重要性を見つけてもらうのが、この副専攻の設置目的です。「ことば」を使うことの難しさが引き起こしている社会的な問題からケータイなどの通信技術、情報処理、認知科学等々の分野で進められていることばに関する先端研究まで、扱ってゆきたいと考えています。単一の学部で全てを網羅することが難しい多面的なことばの広がりを学び、「ことばを科学する」能力を涵養することを狙いとします。

履修モデル

多岐の学問分野に亘り、異なった知識背景、関心を持つ学生が、必要に応じ言語学、情報科学を中心とする「ことば」に関連する学問を習得できるような授業・演習科目の提供、今後の学習計画のアドバイスを行なえるような副専攻を考えました。各履修者が属する学部が提供する「ことば」に関する授業の違いや受講目的の違いを考慮して、コア科目としては、伝統的な言語学の授業に加え、情報科学・工学に亘った科目を選択できるようにしています。分野横断的な幅広い知識獲得を期待しますが、いわゆる理系、文系に限った従来の授業受講中心でも副専攻課程を修了することができるように配慮しています。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	「ことば」の研究が、どのような展開をしてきたかを多面的に理解し、具体的な言語や音声の分析を通じて科学的な理解とは何かを体得している。	言語学、音声学はもとより情報処理、心理学、語学教育、言語政策などの言語に関連する諸分野で、自分なりの広い視点を持つことができる。

学生へのメッセージ

伝統的な学問や授業、長い教育の歴史、蓄積された知識が良く整理された教科書などに基づいた学問の習得が、効率的な知識の涵養に役立つことは間違いありません。しかしながら、完成度の高い知識吸収だけでは、柔軟なものの考え方、本質的なものの見方、異分野・文化を持つ人間との交流など、現実世界で求められる能力の涵養には不十分な気がします。この副専攻では、我々が使用している「ことば」をじっくりと考え直すことによって、受講者自らが自分の意志で種々の知識を吸収し、学習、研究に役立てて欲しいと思います。「ことば」に関連する学問は広く、現在の副専攻では、限られた授業しか提供できていないかもしれませんが、先々は皆さんの期待に応えられるような科目の充実も図ってゆきたいと考えています。受験などの社会的な外部環境で分かれた理系、文系といった違いをはじめ、共有する歴史が異なる年代間の違い、言語そのものの相違によることばの違いを乗り越え、人と人がみずみずしい感動を共有できるための「ことば」の使い方を自ら考えていく機会として、この副専攻を使っただけでいいと思います。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	言語学（音韻論）	北原 真冬	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	言語学（形態論）	デシエン プレント	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	言語学（統語論・入門）	乙黒 亮	1年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
4	オープン	講義	言語学（意味論）	益子 真由美 他	1年以上	通年	水2時限	早稲田	4		
5	オープン	講義	言語学（言語類型論）	乙黒 亮	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
6	オープン	講義	言語学（統語論・応用）	原田 康也	1年以上	秋学期	水1時限	早稲田	2		
7	オープン	講義	言語学（言語と社会）	武黒 麻紀子	1年以上	春学期	水1時限	早稲田	2		
8	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	「ことば」の情報処理	匂坂 芳典	1年以上	春学期	火4時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
9	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	談話分析	菊池 英明	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
10	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	言葉を活す仕組み	誉田 雅彰	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2		
11	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習（ことばの科学）01	匂坂 芳典 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2		履修必須
12	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習（ことばの科学）02	匂坂 芳典 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2		履修必須

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	言語学（音声学概論）	匂坂 芳典	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	言語学（音声学実習）	北原 真冬	1年以上	秋学期	月2時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	音声学・音韻論演習	北原 真冬	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2		上級生優先枠5名
4	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	文法理論入門	近藤 悠介	1年以上	秋学期	水6時限	早稲田	2		上級生優先枠3名
5	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	Computer Assisted Language Learning	ストックウェル グレン	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2		新設
6	オープン	テーマカレッジ（ことばの科学）	英語音声学	近藤 眞理子	1年以上	秋学期	木1時限	早稲田	2		
7	政経	学部提供	言語学 01	室井 禎之	2年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
8	法	学部提供	言語学 I A（ストックウェル）	ストックウェル グレン	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		
9	法	学部提供	言語学 I B（武黒）	武黒 麻紀子	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2		
10	法	学部提供	言語学 I C（原田）	原田 康也	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
11	法	学部提供	言語学 I D（乙黒）	乙黒 亮	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2		
12	法	学部提供	総合講座「言語情報研究入門」	武黒 麻紀子 他	1年以上	春学期	木6時限	早稲田	2		
13	教育	学部提供	応用言語学	上田 倫史	3年以上	通年	金3時限	早稲田	4		
14	文構	学部提供	言語学入門	森田 彰	1年以上	春学期	木6時限	戸山	2		
15	基幹	学部提供	ことばの数理	匂坂 芳典	3年以上	春学期	水1時限	西早稲田	2		
	オープン	ことばの科学（演習）	コンピュータ支援言語学学習		1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ

設置の趣旨・概要

有史以来、朝鮮半島で展開されてきた歴史と文化を、現在に至るまでの長いタイム・スパンで捉え、それらを多面的に理解するために、考古学、歴史、文学、伝統文化、現代文化などの諸分野からのアプローチを提供しようとするものです。分析対象は、遺蹟・遺物、文献史料・文学作品、民俗、映画、音楽などの多岐にわたりますが、何よりも現在、朝鮮半島（大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国）で生きている人々とのつながりを実感し、他者として向きあいながら、その理解を深めていくことをめざしています。また、朝鮮半島に限らず、在日韓国人・朝鮮人をはじめとする世界中のコリアン・ディアスポラにまで対象を広げ、より身近で奥行き深いコリアン研究をめざします。

副専攻の教育方法の特徴、方針については、オープン教育センターや各学部で開設されている朝鮮語の学習と関連させながら、まず、現代の韓国・朝鮮に対する理解を深めると同時に、専門的な研究に入っていくよう、基礎的な学力を育てることを当面の目標としています。

テーマカレッジで開設されている演習を通じて、学生相互の連携をはかりながら、さらに各種の講演会、見学会を開催して出会いの場を重ねていきます。夏休みには韓国への研修旅行（テーマカレッジ科目・「フィールド韓国学」履修が前提となる）、12月には朝鮮語スピーチコンテストを行なっています。

履修モデル

オープン教育センターや学部で設置されている初級、中級などの朝鮮語を受講しながら（8単位）、まずコア科目の6科目の中から半期2科目を履修し（4単位）、さらに選択科目から、テーマカレッジなどで開講されている演習を、半期4コマ（8単位）を履修することで必要単位数を満たすことができます。

履修例：

- <コア科目> 「現代韓国・北朝鮮研究入門」 2単位 + 「韓国の現代文化（入門）」 2単位 → 4単位
 <選択科目> 「朝鮮古代の社会と文化（応用）」 2単位 + 「朝鮮文学と映像（応用）」 2単位 + 「朝鮮近代史を学ぶ」 2単位 + 「地域研究（韓国）」 2単位 → 8単位
 <選択科目（語学科目）> 朝鮮語（初級） + 朝鮮語（中級）など → 8単位

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	韓国学、朝鮮学専攻をもつ学部であれば、卒業論文の準備段階を修了しました。もうひと頑張りして、ある主題で論文をまとめれば、学部卒業の資格に匹敵します。	希望すれば、専任教員が論文作成の指導を致します。論文があれば、大学院進学の手がかりになるでしょうし、就職の際にも、ダブルディグリーの内実が示せるでしょう。

学生へのメッセージ

語学科目で朝鮮語を学んでいる皆さん、オープン教育センターや学部で設置されている韓国、朝鮮関係の授業や演習で具体的な課題を見つけると、確実に朝鮮語を学ぶ意欲が増していくでしょうし、楽しさも違ってきます。逆に、早稲田大学で開講されている韓国、朝鮮を主題にした様々な演習、授業に出会い、朝鮮語を習得することによって、その世界は、ますます広がってゆくはずです。きっかけは、どちらでもかまいません。担当教員は、皆さんの興味や関心を、広げたり深めたりするのをお手伝いします。

指定科目一覧

修了必要単位

20単位（コア科目4単位、選択科目16単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	志願	備考
1	オープン	講義	現代韓国・北朝鮮研究入門	李 成市 他	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	朝鮮半島の文化と社会（入門）	鄭 根珠	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	朝鮮半島の文化と社会（応用）	鄭 根珠	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	朝鮮古代の社会と文化（入門）	李 成市	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	上級生優先枠1名
5	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	朝鮮文学と映像（入門）	布袋 敏博	1年以上	春学期	火4時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	韓国の現代文化（入門）	李 美江	1年以上	春学期	火3時限	早稲田	2		

★選択科目

修了必要単位 = 16単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	志願	備考
1	オープン	講義	映像が語る現代韓国文化（基礎）	小田川 興 他	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	映像が語る現代韓国文化（発展）	小田川 興 他	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	韓国の現代文化（応用）	福島 みゆり	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	フィールド韓国学	李 成市 他	1年以上	通年	水3時限	早稲田	4	○	海外実習あり
5	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	朝鮮古代の社会と文化（応用）	李 成市	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2		学外実習あり
6	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	在日コリアンから学ぶ（歴史から考える）	岡村 遼司	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	在日コリアンから学ぶ（現状から考える）	岡村 遼司	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
8	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	西域伝来のガラス	岡内 三真	1年以上	秋学期	木4時限	戸山	2	○	上級生優先枠4名
9	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	唐三彩、新羅三彩、奈良三彩	岡内 三真	1年以上	春学期	木4時限	戸山	2	○	上級生優先枠4名
10	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	朝鮮近代史を学ぶ	北原 スマ子	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2		
11	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	朝鮮文学と映像（応用）	布袋 敏博	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2		
12	法	学部提供	地域研究（韓国）	木宮 正史	3年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		
13	文	学部提供	朝鮮近現代史	吉野 誠	1年以上	秋学期	火2時限	戸山	2		
	オープン	テーマカレッジ（コリア研究）	現代韓国社会と日韓関係						2		廃止、取下げ
★語学科目 コア・選択合計8単位まで											
14	オープン	朝鮮語	オープン教育センター設置朝鮮語科目								
15	商	学部提供	商学部設置朝鮮語科目								
16	一文・二文	学部提供	一文・二文設置朝鮮語科目								
17	文講・文	学部提供	文講・文設置朝鮮語科目								
18	国際教養	学部提供	国際教養学部設置朝鮮語科目								

ジャーナリズム／メディア文化

Journalism, Media and Cultural Education

ジャーナリズムの「イズム」は人間に宿る。メディア文化を縦横に学ぶ旅に出よう。

設置の趣旨・概要

本学ではジャーナリズム、メディア、文化現象に関心を持ち、将来そのような職業に就いて活躍したいという希望を抱いて入学してくる学生諸君が多い。また実際にこれらの分野に多くの人材を送り出してきました。それは本学の特色とするところであり、そのような意欲をもった学生諸君はあらゆる学部に散在しています。本副専攻はそのような諸君に勉学の機会とともに将来の仕事への実践的準備を提供しようとするものです。

今日、ジャーナリズム、メディア、文化現象という分野は相互に深く関連しながら、激動の只中にあります。ジャーナリズムは「マスコミ」体制の閉塞のなかであえぎつつも、その「イズム」の担い手を「個」に求めて脱出口を探しています。メディア・システムはインターネットをも包み込んだ地殻変動の中で、相互の垣根がない融合状態へと進み、制度的にも産業的にも重大な過渡期にあります。メディアの作り出す文化現象はグローバル化のなかで国境を初めとした既存のさまざまな境界を問い直し、新しい意識を生み出そうとされていますが、しかし同時に逆流現象も見られます。これらさまざまな動向と現象が捻り合わされて、太い変化の潮流を作り出しているのです。

ジャーナリズム研究、メディア文化研究という学問領域が相互に連携しながら、こうした世界的な状況を認識し、理解し、説明しようと努力してきました。と同時に、このような分野で専門的に仕事をする職業人や社会の中で実践的に働く市民活動家もこの状況をより客観的、体系的、構造的に捉え、将来への展望を開きたいと努力してきました。双方の関心と努力と展望が交差し重なるところに、この副専攻の教育プログラムは成立しています。

将来ジャーナリストになろうとする人はメディア産業やメディア文化現象のことを知らずしてはなれませんし、将来メディア産業や文化産業で仕事をしたい人はジャーナリズム活動とメディア文化現象への理解なしにはよい仕事はできません。

みなさんにはこの2本の柱のうちどちらかの柱に軸足を置いて、そこを深く掘り下げて考え、実践しながら学ぶとともに、もうひとつの柱についても関心を払って勉強して欲しいと思います。それはきっと知的にも実践的にもワクワクする、冒険的な機会なのです。

履修モデル

この副専攻の教育プログラムは2本のポール（柱）から成っています。

◆第1は「ジャーナリズム」の柱で、ジャーナリスト志望の学生向けに考えられています。ここではジャーナリズムの理論と歴史を学び、同時代についての批判的・分析的な社会認識を理解し、そしてジャーナリストの経験的な知と実践的な精神から学ぶことが目標です。これは「マスコミ教育」ではなく、「ジャーナリスト養成教育」です。「ジャーナリズムとは何か」「ジャーナリストとはどのような職業か」を理解し、その「ものの見方」や姿勢を明確に意識した上で、その道に進んで行なって欲しいと思います。演習で採っている教育方針は2つあり、ひとつはジャーナリズムがその社会的機能を果たしたときのケースと作品とジャーナリストから学ぶこと、もうひとつは観察者の立場に立って出来事の現場と当事者（つまり「他者」）からいかに学ぶかということです。

◆第2は「メディア文化研究」の柱で、メディアのさまざまな特性、メディア文化の権力作用、メディア産業の実態、メディア制度の構造、情報社会論など、現代のメディア環境を理解する上での基本的な枠組みを学び、現状に対する批判的視点を獲得することが目標です。と同時に、グローバル文化、映像文化、表象文化論、読者論、オーディエンス論などの文化研究の成果を学ぶとともに、実際にさまざまな文化実践や作品に触れながら理解を深めていくことも目標です。一見すると報道やジャーナリズムとは縁遠いように見える、日常的な音楽やドラマなどポピュラー文化の生産と受容にこそ「他者」への理解や偏見のメカニズムが隠されています。このことを見抜く力、そして対話や文化実践の教養を身につけて欲しいと思います。

●履修方法としては、自分自身の関心に合わせて2本のポールのどちらかを選んで、そのポールのコア科目群を中心に履修してください。次に、他のポールのコア科目を優先的に履修してください。コア科目で修得した単位は選択科目の単位に読み替えることができますので、コア科目だけでも副専攻修了に必要なすべての単位を揃えることは可能です。その際、人数の多い講義科目だけで単位を揃えることも理論的には可能ですが、自分が選んだポールに配置されている少人数の演習科目を少なくとも一つは履修することを強くお勧めします。もちろん修了に必要な選択科目の単位を選択科目群の中で満たすこともできます。

つまり、履修モデルとして優先順位は次のとおりです。

- 1 自分の選んだポールのコア科目のうち講義科目をまず履修し、さらに演習科目に進む。
- 2 他のポールのコア科目を履修し、修了に必要な単位数に近づける。コア科目単位は選択科目単位に読み替えが可能ですから、これを活用してください。
- 3 興味のある選択科目を履修し、修了に必要な単位数を達成する。

以上3つをその順番で進めてもよいし、同時並行的に、計画的に進めてもよいでしょう。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	2本のポールのどれかについて実践的な深い知識を獲得し、ほかのポールについても一般的な理解をもっている。希望する職業分野について知的なスタンバイ状態を達成している。	・コミュニケーション関連職業に就く。ジャーナリスト、メディア産業、文化産業、広報活動、市民活動、NPO、NGOなど。 ・関連領域の大学院への進学。

学生へのメッセージ

今日のジャーナリズム状況、メディア状況、メディア文化現象の中で自分を見失わずにアクティブに生きていくためには、先入観にとらわれない領域横断的な知の構え、この時代に主体的に関わろうという実践的な倫理観、そして他者への表現能力と伝達能力が必要です。学びへの旺盛な意欲をもった学生諸君の受講を期待し、歓迎します。

みなさんの所属学部で主専攻をしっかりと学習することを前提に、ここでの副専攻としての学習があることを自覚して、計画的に大学生活を送ってほしいと思います。大学には使い切れないほどに、学習のための機会と資源があります。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（コア科目4単位、選択科目16単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ジャーナリズム概論	花田 達朗 他	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	報道が社会を変える—取材過程論—	花田 達朗	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	ジャーナリズム演習 ベーシック	野中 章弘 他	2年以上	秋学期	火2-3	早稲田	4		演習形式、自動登録
4	オープン	講義	ジャーナリズム演習 アドバンスド	野中 章弘 他	2年以上	春学期	火3時限	早稲田	2		演習形式、自動登録
5	オープン	講義	メディア論入門	伊藤 守	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	
6	オープン	講義	表象とメディア	伊藤 守 他	1年以上	秋学期	土2時限	早稲田	2	○	
7	オープン	講義	メディア文化研究	伊藤 守 他	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	演習形式
8	オープン	講義	テレビドラマと日本社会	長谷 正人	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	演習形式
9	オープン	講義	メディア文化とシティズンシップ	岩淵 功一	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	演習形式
10	オープン	インターンシップ	インターンシップ実習 03 (マスメディア)・07 (上級)	花田 達朗	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2	○	実習形式
11	オープン	講義	グローバル文化論		1年以上				2		隔年休講

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ ((株)フジテレビジョン寄附講座)	安藤 紘平 他	1年以上	春学期	土4時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	スポーツジャーナリズム論 (大久保建男スポーツジャーナリズム基金寄附講座)	中村 好男 他	1年以上	春学期	金2時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	21世紀世界における戦争と平和 (入門・歴史)	多賀 秀敏 他	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2		
4	オープン	講義	21世紀世界における戦争と平和 (争点、ケース)	多賀 秀敏 他	1年以上	秋学期	土2時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	情報化社会論	土方 正夫	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
6	オープン	講義	地域連携と地域競争力	藁谷 友紀 他	1年以上	秋学期	月6時限	早稲田	2		
7	オープン	講義	身体表象論	神尾 達之	1年以上	秋学期	木5時限	早稲田	2		
8	オープン	講義	身体イメージを考えるためのツール・キット						4		休講
9	オープン	テーマカレッジ (越境する想像力)	スペクタクル社会を考える	中村 要	1年以上	通年	木3時限	早稲田	4	○	上級生優先枠10名
10	オープン	Tutorial English と実践的な英語科目群	Cross-Cultural Distance Learning (CCDL) (Media)	近藤 悠介 他	1年以上	※	※	早稲田	2		
11	政経	学部提供	映像文化論A 02	原 章二	1年以上	春学期	木1時限	早稲田	2		
12	政経	学部提供	映像文化論B 02	原 章二	1年以上	秋学期	木1時限	早稲田	2		
13	法	学部提供	芸術論I B (塚原)	塚原 史	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2		
14	法	学部提供	芸術論II (塚原)	塚原 史	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2		
15	教育	学部提供	マスコミュニケーション概論I	花田 達朗	1年以上	前期	水2時限	早稲田	2		
16	教育	学部提供	マスコミュニケーション概論II	花田 達朗	1年以上	後期	水2時限	早稲田	2		
17	教育	学部提供	社会学研究I-1	北澤 裕	2年以上	前期	水2時限	早稲田	2		
18	教育	学部提供	社会学研究I-2	北澤 裕	2年以上	後期	水2時限	早稲田	2		
19	教育	学部提供	広報関係論I	伊藤 守	2年以上	前期	水4時限	早稲田	2		
20	教育	学部提供	広報関係論II	伊藤 守	2年以上	後期	水4時限	早稲田	2		
21	教育	学部提供	現代社会研究6	若林 幹夫 他	2年以上	後期	月5時限	早稲田	2		
22	教育	学部提供	複合文化学特論17	神尾 達之	2年以上	前期	木5時限	早稲田	2		
23	教育	学部提供	複合文化学特論19	福田 育弘	2年以上	後期	金3時限	早稲田	2		
24	教育	学部提供	情報技術の応用と職業	楠元 範明	2年以上	前期	月3時限	早稲田	2		
25	教育	学部提供	情報社会・情報倫理	楠元 範明	2年以上	後期	月3時限	早稲田	2		

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覧」を確認してください。

社会貢献とボランティア

Social Contribution and Volunteering

自分を変える。社会が変わる。

設置の趣旨・概要

「在学中にボランティアをやりたい」「社会に貢献できる大人になりたい」という学生は多いのではないのでしょうか。

「でも、何から始めよう…」という学生も同様に多いことでしょう。また、すでに始めているけど「これでいいのかな」と疑問もあるかもしれません。

本副専攻では、そういった学生のみなさんが、それぞれの興味・関心に応じた分野からボランティアについて学び、実際にボランティア活動に参加するなど、行動を起こしてもらうことを目的としています。具体的には、

- ① 様々な社会問題の現場で活躍する実践者を講師に招くなど実践を意識した講義科目
 - ② 学生に社会問題の現場を体験してもらう、または実践につながる方法を学ぶ実践科目
- の2つから、それぞれの興味・関心に応じた科目を選んで、学びを進めていってほしいと思います。本副専攻の履修が、各学生にとって「一歩踏み出す」(行動を起こす)きっかけとなれば幸いです。

履修モデル

本副専攻では、様々な社会問題の解決に向けて行動を起こすための知識・情報、そして実践手法に関する科目を指定科目としています。したがって、社会貢献やボランティアなど現場体験はもとより、ビジネスや制度・政策など「行動する」ことにつながる実践系科目を多く用意しています。

具体的には、

- ① 環境、教育、人権、福祉、文化、地域など社会貢献やボランティアに関わる「分野」の理解を深める
- ② 各分野に関連するビジネス、組織経営、政策など社会貢献への行動を起こすための「実践手法」を学ぶとして体系化した科目群を提供します。6つの「分野」では、社会で起きている問題、課題を構造的に理解し、「実践手法」では、それらを変えるべく行動するための方法論を学びます。

履修開始時	修了時	修了後の展望
ボランティアをやりたい、社会に貢献できる大人になりたい、と思っている	社会で起きている問題、課題を構造的に理解する。これらの問題を変えるべく行動するための方法論を習得している。	将来にわたって、社会貢献活動やボランティア活動に積極的に参画し、社会問題の改善に向けて、主体的に行動する

学生へのメッセージ

「ボランティアしたいけど、どんな分野で何をすればいいかわからない。」

「ボランティア活動を続けてきたけど、そこで起きている問題を解決できるような方法が見つからない。」

そんな「もどかしさ」を抱えているみなさん、本副専攻の中で、考え続けるための自分なりの指針や、行動するための方向性を見出してください。様々な社会問題に対峙し現場で活動する実践者の声を聞く講義科目、現場から学ぶ体験科目。副専攻の核となるこれら2つの科目体系はみなさんに、社会で起きている問題・課題を構造的に理解してもらうことを目指し、それを変えるための一歩を促します。

考え、行動するための指針を見つけた学生が、この副専攻履修中はもちろん、修了後も将来にわたって、社会貢献やボランティア活動の先頭に立てる人材となれることを願っています。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位=4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ボランティア論－入門と基礎理論－	兵藤 智佳 他	1年以上	春学期	金4時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	ボランティア論－体験の言語化－	岩井 雪乃 他	1年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2	○	履修必須
3	オープン	講義	国際開発援助 理論と実践	秋吉 恵 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
4	オープン	講義	ワークキャンプ論－実践的リーダー養成講座－	田村 正勝 他	1年以上	秋学期	木5時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	人権と市民活動・ボランティア	田村 正勝 他	1年以上	春学期	木5時限	早稲田	2		
6	オープン	講義	環境とボランティア	岩井 雪乃	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
7	オープン	講義	グローバルヘルス	兵藤 智佳	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2		

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	持続可能な生活スタイル論	兵藤 智佳 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2	○	8/22～9/1、海外実習あり、250,000円(予定)
2	オープン	講義	持続可能な社会と市民の役割	高野 孝子 他	1年以上	通年	木5-6	早稲田	4	○	海外・国内実習あり、250,000円(予定)
3	オープン	講義	カンボジアの文化遺産の保全と村づくりへの国際協力実習	中川 武 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2	○	9/2～14、海外実習あり、200,000円(予定)
4	オープン	講義	東南アジアの開発問題とNGOの役割	西村 正雄	1年以上	夏季集中	無その他		2	○	8/3～14、海外実習あり、260,000円(予定)
5	オープン	講義	インド"白い革命"から学ぶ途上国の農村開発	秋吉 恵	1年以上	前期夏季	火2時限	早稲田	2	○	8/30～9/8、海外実習あり、230,000円(予定)
6	オープン	講義	農山村体験実習(農林中央金庫寄附講座)	柏 雅之 他	1年以上	通年	水4時限	早稲田	4	○	学外実習あり、50,000円(予定)
7	オープン	講義	ベンチャー企業の創出	柳 孝一	1年以上	春学期	水6-7	早稲田	2		
8	オープン	講義	地域を経営する	友成 真一	1年以上	通年	木5時限	早稲田	2	○	学外実習あり
9	オープン	講義	自分のプロジェクトを経営する	友成 真一	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2	○	
10	オープン	講義	環境を経営する	友成 真一	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	
11	オープン	講義	環境・エネルギー工学の最前線	納富 信 他	1年以上	春学期	水6時限	西早稲田	2		
12	オープン	講義	福祉社会総論	久塚 純一 他	1年以上	春学期	土3時限	早稲田	2		
13	オープン	テーマカレッジ(国際言語文化研究)	地球・地域学のすすめ	池田 雅之	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
14	オープン	テーマカレッジ(ユネスコ)	技術活動(保存技術)	中川 武 他	1年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
15	オープン	テーマカレッジ(ユネスコ)	文化活動(世界遺産とそのマネージメントの諸問題)	西村 正雄	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2		
16	オープン	保健体育	スポーツボランティア(松代雪ほり)	宮崎 正己	1年以上	冬シーズン	無その他		1	○	2/5～8
17	法	学部提供	地域研究(アフリカ)	永岡 宏昌	3年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
18	社会学	学部提供	コミュニティデザイン	卯月 盛夫	1年以上	前期	火4時限	早稲田	2		
19	社会学	学部提供	環境表現論ⅠA	佐藤 洋一	1年以上	後期	月3時限	早稲田	2		
20	文講	学部提供	ボランティアとNPO・NGO	湯本 浩之	2年以上	秋学期	水3時限	戸山	2		
21	文講	学部提供	障害者福祉論	岡部 耕典	1年以上	春学期	火6時限	戸山	2		
22	文講	学部提供	ソーシャルワーク論 1	岡部 耕典 他	1年以上	春学期	月4時限	戸山	2		
23	文講	学部提供	ソーシャルワーク論 2	岡部 耕典 他	1年以上	秋学期	月4時限	戸山	2		
24	文講	学部提供	国際教育論－国際化・グローバル化と教育	山西 優二	2年以上	秋学期	木3時限	戸山	2		
25	文	学部提供	比較・国際教育学(教育改革の視点とその方策)	山西 優二	2年以上	春学期	木3時限	戸山	2		
26	基幹	学部提供	社会参加とボランティア	浦野 正樹 他	1年以上	春学期	木4時限	西早稲田	2		
27	日本語	日本語センター提供	子どものための日本語教育	川上 郁雄	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
28	日本語	日本語センター提供	「移動する子ども」のことばの教育学	川上 郁雄	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		

戦略的環境研究

Strategic Environment Studies

「環境」という「大海原」での「航海術」を身につけませんか？

設置の趣旨・概要

「環境」への関心が、世界的にかつてないほど高まっています。それにともなって、大学で「環境」を学びたいと望む学生もどんどん増えています。

しかし、「環境」に関する学問はますます複雑化、多様化しており、「環境」を学びたいと望む学生は、「大海原を漂う小舟」といった感じをもっているのではないでしょう

本副専攻の目的は、学生のみなさんが、自分自身の「視座」をもって、「環境」を学べる「学習環境」を整えることにあります。

そのために本副専攻では、

- ① 「環境」に関する学問体系を、包括的に学習する場を提供します。
- ② 学生のみなさんひとり一人が、「環境」を捉える「視座」を獲得するのに役立つ場を提供します。

「戦略的環境研究」の「戦略」の意味がここにあります。

「戦略」とは、判断に必要な情報を十分に収集し、ある「目的」を達成するために「最適な道」を選び実行していく、その営み全体を示していると考えています。

本副専攻を履修したひとり一人が、自らの「目的」を定め、「戦略的」に「環境」と取り組むことができる土台を提供できれば幸いです。

履修モデル

本副専攻の目的を達成するために2種類の科目群を設定しています。

- ① 「環境」に関する学問を俯瞰（ふかん）する科目
 - ・ 文系・理系の学生のいかなをとわず、「環境学」の全体像を理解することができる科目群です。
 - ・ ここでは、自然科学、生物学、理工学などの視点から、「環境学」の最新状況を明らかにします。
- ② 「環境」をいかに「戦略的」に見るかの「視座」を養う科目
 - ・ 「持続的成長」「政治」「ジャーナリズム」「ビジネス」などの「視座」から、「環境」を自らとらえなおす機会を提供します。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	・ 「環境」に関する学問が、どのように「環境」を扱っているかを理解している。 ・ 自分が「環境」を考える際の「視座」を獲得している。	・ 勉学的な展望；深めるべき学問のターゲットが明確になり、それを掘り下げるチカラを有している。 ・ 進路等の展望；「環境」が自らの進路にとって持つ意味を理解した上で、自分の人生を切りひらくことに取り組んでいる。

学生へのメッセージ

「環境」って、わかりやすいようで、実はわかりにくいですね。

それは、「環境」を巡って、いろんなステイクホルダー（利害関係者）の思いが、複雑に交錯しているからです。

「環境」に取り組む、「表の論理」と「裏の論理」がからみあっているとも言えます。

「真実を見る目」を養わないと、「表の論理」に翻弄され、「環境」に取り組んでいる自分自身がわからなくなります。

「環境」をあつかう際にみなさんが感じる「もどかしさ」「腑に落ちない感じ」を、なんとかスッキリ整理できないかと考えてこの副専攻を設置しました。

学部での勉強の後に、さらに深く「環境」を掘り下げたい方には、環境・エネルギー研究科が用意されています。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位=4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	環境を経営する	友成 真一	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	環境・エネルギー工学の最前線	納富 信 他	1年以上	春学期	水6時限	西早稲田	2		
3	オープン	講義	環境科学基礎講座	吉田 徳久 他	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	環境問題と持続可能な社会	吉田 徳久 他	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2	○	
5	オープン	講義	環境 이슈を再編集する	吉田 徳久 他	1年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2	○	
6	オープン	講義	環境 이슈を深く読み解く	吉田 徳久 他	1年以上	春学期	水5時限	早稲田	2	○	

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	持続可能な社会と市民の役割	高野 孝子 他	1年以上	通年	木5-6	早稲田	4	○	海外・国内実習あり、250,000円（予定）
2	オープン	講義	環境とボランティア	岩井 雪乃	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	エネルギーと地球環境の国家戦略とビジネス	平田 竹男 他	1年以上	春学期	金1時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	やさしい「環境とエネルギー」	清水 功雄	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	
5	オープン	講義	環境関連施設見学実習(思索)	円城寺 守	1年以上	春学期	月6-7	早稲田	2	○	学外実習あり
6	オープン	講義	環境関連施設見学実習(実践)	円城寺 守	1年以上	秋学期	月6-7	早稲田	2	○	学外実習あり
7	オープン	講義	資源エネルギーと地球環境問題を考える		1年以上				2		休講
8	オープン	講義	NPO実践論		1年以上				4		休講
9	法	学部提供	環境論 I B	吉田 徳久	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		追加
10	教育	学部提供	地球の起源	澤口 隆	1年以上	前期	木1時限	早稲田	2		
11	教育	学部提供	地球システムと環境問題	澤口 隆	1年以上	後期	木1時限	早稲田	2		
12	教育	学部提供	地理学Ⅲ(自然環境と風土)	松倉 公憲	1年以上	前期	木2時限	早稲田	2		
13	教育	学部提供	地理学Ⅳ(風景の科学)	松倉 公憲	1年以上	後期	木2時限	早稲田	2		
14	教育	学部提供	地球環境の変遷と生物の絶滅		1年以上				2		休講
15	教育	学部提供	複合化学の開拓地 I		1年以上				2		休講
16	教育	学部提供	複合化学の開拓地 II		1年以上				2		休講
17	社会学	学部提供	環境法 I	黒川 哲志	3年以上	前期	水3時限	早稲田	2		
18	社会学	学部提供	環境法 II	黒川 哲志	3年以上	後期	水3時限	早稲田	2		「I」を修得済であること
19	人科	学部提供	環境情報科学	太田 俊二	1年以上	春学期	火3時限	所沢	2		
20	人科	学部提供	地球環境システム論	太田 俊二	1年以上	秋学期	火3時限	所沢	2		
21	人科	学部提供	環境民俗学	鳥越 皓之	1年以上	秋学期	木2時限	所沢	2		追加
22	人科	学部提供	環境社会学	鳥越 皓之	1年以上	春学期	木2時限	所沢	2		追加
23	基幹	学部提供	現代環境論	村山 武彦	1年以上	春学期	月2時限	西早稲田	2		
24	基幹	学部提供	環境倫理	村山 武彦	2年以上	春学期	火4時限	西早稲田	2		
25	基幹	学部提供	環境政策と計画	村山 武彦	2年以上	秋学期	月2時限	西早稲田	2		
26	創造	学部提供	環境基礎工学	榎原 豊	1年以上	秋学期	金3時限	西早稲田	2		

設置の趣旨・概要

この全学共通副専攻では、ソフトウェアの作り方を学びます。

ソフトウェアは人間が作成するものであり、機械が自動的に作ってくれるものではありません。ソフトウェアは、何かしらのプログラミング言語を用いて作成することになります。

コンピュータは社会のあらゆる場面で用いられるようになっていっていますから、その用途は様々です。また、ソフトウェアの規模に目を向ければ、1行のみの、しばしば「one-liner」と呼ばれる小規模なソフトウェアから、Microsoft社のWindowsシリーズのように重量級のものまで様々です。

非常に小規模な、主にテスト目的で作成するプロトタイプであれば話は別ですが、業務に利用されるソフトウェアや一定の規模以上のソフトウェアであれば、きちんとした設計図に基づいた開発を行なわないと、遠からず破綻します。より具体的には要件定義、設計、コーディング、テスト、運用を行ないながらの保守などが必要で、単にプログラミングができるだけ以上のことが要求されます。良いソフトウェアは、思いつきでは作ることができないのです。

「ソフトウェア学」は、このようなソフトウェアのライフサイクルを総合的に学習するための全学共通副専攻です。

履修モデル

ソフトウェアの開発と一言にいっても、上述のように、ソフトウェアが目的とするものは多種多様です。そこで、ソフトウェアの開発そのものについて勉強するとともに、コンピュータの具体的な活用の方向性を学ぶ必要もあります。

この副専攻では、プログラム開発、マルチメディア、ネットワーク、セキュリティの4分野についてコア科目としています。これらのうち、「プログラム開発」該当科目である「ソフトウェア開発技術」と「データベースI」は必ず履修してください。次にマルチメディア、ネットワーク、セキュリティのうちどれか1つを選択して、コア科目、選択科目ともにその分野の科目を集中的に選択するようにしてください。

ただし、「プログラミング初級」および「プログラミング中級」は極力履修するとともに、初級も中級もCあるいはJavaのどちらかを選び、学習するプログラミング言語を統一して科目を選択してください。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	ソフトウェアの開発について基礎的な知識を身に付け、簡単なソフトウェアを開発できる。マルチメディアやネットワーク、セキュリティそれぞれの分野の基礎知識を持つ。	プログラミングの技術を身に付けるには、実際のソフトウェアを見るのが一番ですが、オープンソースソフトウェアなどの隆盛でこれは容易になっています。 卒業後、IT関係の会社への就職を考えている学生に履修を勧めます。

学生へのメッセージ

車、テレビ、ビデオ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機、炊飯ジャー、携帯電話など、何かしらのコンピュータとソフトウェアが組み込まれているものは身の回りに数多くあり、これからも増えていくでしょう。コンピュータでやりたいことを実現するには、まずそのようなソフトウェアがあるかどうか探すべきですが、要求に合致したソフトウェアを探すことは一般的に困難です。このような場合、いくつかのソフトウェアやサービスを組み合わせたり、修正したり、自分で開発することが求められます。

このソフトウェア開発とはどういうことなのか、この副専攻を通じて具体的なイメージを持ってください。

また、自分の学部における主専攻を大切にしてください。日本の場合、システムエンジニアとして採用されて働く際に理系か文系かを問われないことが多いようですが、一般教養と主専攻を土台としてソフトウェア開発の技術を身に付ければ、向かうところ敵なしです。

指定科目一覧

修了必要単位

24単位（コア科目8単位、選択科目16単位）以上

★コア科目

修了必要単位=8単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	実験実習料	備考
1	MNC	MNC提供	ソフトウェア開発技術 01	本位田 真一 他	1年以上	春学期	月1-2	早稲田	4	2,000	履修必須
2	MNC	MNC提供	データベースI 01	前野 譲二	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	1,000	履修必須
3	MNC	MNC提供	インターネットセキュリティ技術 01~03	佐藤 健	1年以上	※	※	早稲田	2	1,000	
4	MNC	MNC提供	マルチメディア入門 01~03	鈴木 敬彦 他	1年以上	※	※	早稲田	2	1,000	
5	MNC	MNC提供	Web設計入門 01~05	三橋 大輔 他	1年以上	※	※	早稲田	2	1,000	
6	MNC	MNC提供	マルチメディア・コミュニケーション 01~03	山田 豊明	1年以上	※	※	早稲田	2	1,000	
7	MNC	MNC提供	CGエンジニア入門 01	白石 路雄	1年以上	春学期	木1時限	早稲田	2	1,000	
8	MNC	MNC提供	情報セキュリティ技術 01	本位田 真一	1年以上	秋学期	月1時限	早稲田	2	1,000	
9	MNC	MNC提供	ネットワーク技術中級 01	多田 武丸	1年以上	集中講義 (後期)	その他	早稲田	2	1,000	
10	MNC	MNC提供	ネットワークセキュリティ I 01		1年以上			早稲田	2	1,000	休講
11	MNC	MNC提供	情報科学の基礎 01~10	久野 禎子 他	1年以上	春学期	※	早稲田	2	1,000	
12	MNC	MNC提供	ネットワーク技術Ⅲ		1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
13	MNC	MNC提供	ネットワーク技術Ⅳ		1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ

★選択科目

修了必要単位=16単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	実験実習料	備考
1	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (C言語) 01~02	辰己 丈夫 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
2	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (Java) 01~03	伊知地 宏 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
3	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (VisualBasic) 01~04	石井 宏	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
4	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (Ruby) 01	伊知地 宏	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2	1,000	
5	MNC	MNC提供	プログラミング中級 (Java) 01~02	大内 英範 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
6	MNC	MNC提供	プログラミング中級 (C++)	大内 英範	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	1,000	
7	MNC	MNC提供	UNIX入門 01~02	佐藤 健	1年以上	春学期/ 秋学期	金5時限	早稲田	2	1,000	
8	MNC	MNC提供	データベースII 01	前野 譲二	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	1,000	
9	MNC	MNC提供	サーバサイドWebプログラミング入門 01~03	四方 義昭	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
10	MNC	MNC提供	クライアントサイドWebプログラミング入門 01~03	四方 義昭	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
11	MNC	MNC提供	クライアントサイドWebプログラミング中級 01	山名 早人	1年以上	春学期	金1時限	早稲田	2	1,000	
12	MNC	MNC提供	大規模データ解析入門 01	長久 勝	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2	1,000	
13	MNC	MNC提供	ミュージック・プログラミング 01~02	鈴木 敬彦	1年以上	春学期/ 秋学期	火3時限	早稲田	2	1,000	
14	MNC	MNC提供	情報化社会概論 A~F	寛 捷彦 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2		
15	MNC	MNC提供	Webビジネス 01	山名 早人 他	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
16	MNC	MNC提供	オープン・ソース・ソフトウェア概論 01	大木 一浩 他	1年以上	春学期	フルオン デマンド		2	1,000	
17	MNC	MNC提供	数理と情報 01	阪井 和男	1年以上	秋学期	フルオン デマンド		2	1,000	
18	人科	学部提供	人工知能論	松居 辰則	1年以上	秋学期	火4時限	所沢	2		
19	基幹	学部提供	言語処理系	寛 捷彦 他	3年以上	春学期	金5時限	西早稲田	2		
	MNC	MNC提供	プログラミング初歩						2		廃止、取下げ
	MNC	MNC提供	プログラミング中級						2		廃止、取下げ

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覧」を確認してください。

南の隣人：“不思議な”台湾を知ろう！

設置の趣旨・概要

本テーマカレッジは、日本にとって最も身近な隣人－台湾への多面的な理解を深めることを目的とする。冷戦後、グローバル化が急速に深化し、様々な問題も生じる中、新たな発想に基づく地域協力の枠組構築が求められている。このような中で、安定した日台および日中関係の構築、また、東アジア地域における平和的共存を展望しつつ、台湾を様々な側面から取り上げ、台湾を通じた東アジアの将来の可能性について考えたい。

こうした趣旨に基づき、講義科目に加えて、多彩な演習科目を提供し、歴史、政治、経済、日台交流史など多岐にわたる側面から、台湾、および日台関係の過去と現在を考察し、グローバルな視点に立った台湾研究の在り方を受講生とともに模索したい。

履修モデル

「東アジア地域から見た台湾」を幅広く学ぶため、本全学共通副専攻では、学内で開講している東アジア関連の科目を有機的に連動させ、受講生が自身のレベルにあわせて、台湾理解を深めることを目指している。そのために通常の講義科目に加え、語学の学習プログラムやプロジェクト研究所である台湾研究所の協力の下、講演会、シンポジウム、現地調査などへの参加も一部可能にし、受講生の理解を促進していきたい。

＜コア科目＞

「帝国思想と台湾」2単位＋「台湾政治研究」2単位＋「台湾と東アジアの安全保障」2単位＋「日台企業の国際分業体制」2単位＋「台湾研究」2単位＋「台湾の文化と社会」2単位など

＜選択科目＞

「台湾を知る（入門・発展）」（各2単位）＋「中国総合講座（入門・発展）」（各2単位）＋「地域研究（韓国）」2単位など

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	台湾に関する幅広い知識を身に着け、一定の語学力を習得。	習得した知識に基づき、台湾に対し自らの見解を持ち、より専門的な教育への学習を奨励する。また卒業後、政府機関・企業等で台湾／中国と関わる分野で活躍してもらいたい。

学生へのメッセージ

日本と国交がないにも関わらず、年間250万人以上が往来する不思議な隣人「台湾」。ある調査によれば、台湾人の一番移住したい国は日本である。また、日本社会でも観光先としての台湾の人気は高い。これらのことからわかるように、日台双方は民間レベルで非常に密接な関係を築いている。本全学共通副専攻では、国交がなく、これまで教育現場であまり取り上げられることのなかった台湾を、体系的に学べるようにカリキュラムを組んでみた。政治によって色分けされている知識をひとまずおいて、異なる角度から自分の言葉で台湾像を整理すれば、その中から新たな理解が生まれてくるだろう。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（コア科目4単位、選択科目14単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	台湾を知る(入門)	江 正殷	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	台湾を知る(発展)	江 正殷	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2	○	
3	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾研究 01	江 正殷	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾研究 02	江 正殷	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2	○	
5	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台企業の国際分業体制(基礎)	小林 英夫 他	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台企業の国際分業体制(応用)	小林 英夫 他	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	帝国思想と台湾	若林 正丈	1年以上	春学期	火3時限	早稲田	2		

★選択科目

修了必要単位 = 14単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ビジネス比較論 日台そして米中	岩永 康久 他	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	中国総合講座(入門)	江 正殷 他	1年以上	春学期	水5時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	中国総合講座(発展)	江 正殷 他	1年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国の歴史と社会	劉 傑	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2		
5	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	大君外交と東アジア:朝鮮・琉球編		1年以上				2		休講
6	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	大君外交と東アジア:東南・東北アジア編		1年以上				2		休講
7	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国報道の分析(概論)		1年以上				2		休講
8	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国報道の分析(特論)		1年以上				2		休講
9	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	商社ビジネス現場から見た日・台そして中・米関係	岩永 康久	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	海外実習あり、上級生優先枠10名
10	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾をめぐる国際関係	呉 春宜	1年以上	春学期	月4時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
11	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾と東アジアの安全保障	山本 武彦	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
12	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾政治研究	若林 正丈	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
13	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾の文化と社会(入門)	松岡 格	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		上級生優先枠2名
14	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾の文化と社会(発展)	松岡 格	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
15	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台の経済・社会		1年以上				2		休講
16	政経	学部提供	日本政治思想史 01	金井 隆典	3年以上	春学期	水3時限 木3時限	早稲田	4		
17	政経	学部提供	地域文化研究(東アジア) 01	斉藤 泰治 他	2年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		
18	政経	学部提供	国際政治経済研究 春学期(若林正丈)	若林 正丈	3年以上	春学期	金2時限	早稲田	2		
19	政経	学部提供	地域研究(台湾地域研究論) 01	若林 正丈	3年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		追加
20	法	学部提供	日本法史Ⅱ(近代)	浅古 弘	2年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
21	社会学	学部提供	歴史学(日中関係史) 1	劉 傑	1年以上	前期	月3時限	早稲田	2		
22	社会学	学部提供	歴史学(日中関係史) 2		1年以上				2		休講

知財コミュニケーション

Intellectual Property and Innovation

知的財産は、現代社会のキーワード

設置の趣旨・概要

わが国の産業が強い国際競争力を維持するために、知の創造と知的財産としての権利化、有効な活用が求められています。そのためには、研究開発のマネジメント、企業法務などで知的財産問題の専門家が必要とするだけでなく、ビジネスの現場を踏まえた全体的なマネジメントをできる人材が欠かせません。

そのためには、理工学的な知識と法的な知識、行政、ビジネス世界を大きく展望する「文武両道」にわたる幅広い知識と見識が鍵を握ります。本副専攻では、知的財産分野における専門化を目指す学生のみならず、研究プロジェクトを指導できる人材、ビジネスの現場で特許権や著作権を活用したビジネスモデルを構築するマネジャーなどを想定し、知的財産の創出から管理、活用に至る基本的な知識を習得することを目指します。

履修モデル

所属学部によって、履修モデルを工夫してみましよう。例えば、①理工系学生の場合は知的財産法やビジネスモデルに関する講座を習得する、②人文科学系では理工学系の講座を習得する、などとすることで、各自の専攻分野以外の見識を広げることが肝要です。

知的財産、ベンチャー、サイエンスコミュニケーションなどに関する実践的な講座を履修すると、法律や経済学など専門的な学問の持つ意味を理解しやすくなります。各自の興味ある科目を選び、選択科目との連携を意識してください。また、選択科目は所属学部の講義を考慮しながら、知的財産の利用・活用につながる科目を組み合わせてください。科学技術史、演劇やジャーナリズムなどを組み込むと、各自が将来目指す方向を明確にできるはずです。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	特許、著作権、商標・意匠などを戦略的に使う企業が社会的評価を高め、知財権を侵害する企業は信頼されなくなるという時代を迎えています。模倣品の氾濫、不法なダウンロードの蔓延という現代社会の病理に厳しい目を向けましょう。 また、新しいビジネスの目となるベンチャー企業の創出は、大学の知の活用というだけにとどまらず、大企業の中に潜む優れた技術を世に送り出すうえでも必要。そのために必要な基礎的な能力を身に付けたいものです。	・法律や経済システムに関する専門的な知識に加え、今を支え、次代を作る知的財産という意識を持ち、受講中はもとより、修了後も社会の動きに絶えず関心を持ち、経済、社会、政治に関する敏感な感性を養いましょう。 ・講義を通じて得た知識とともに、ゲストスピーカーを含めた人材ネットワークが、企業社会の中で君たちの大きな可能性につながります。法曹の世界でも知的財産分野に強いことが要件の一つになろうとしています。

学生へのメッセージ

本副専攻は必ずしも専門的な高度な知識習得を目指すものではなく、「コミュニケーション」という言葉にあるように、知的財産にかかわる研究やビジネスと社会との接点を見つけ、その対話を可能にすることを通じて、学生諸君の将来の可能性を広げることが狙っています。新しい試みであり、教員にとっても新たな挑戦となります。一緒に新地平を切り開こうという意欲ある学生の参加を希望しています。

指定科目一覧

修了必要単位

20単位（コア科目6単位、選択科目14単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ウーマン・キャリアクリエイト講座（新日本有限責任監査法人寄付講座）	並木 秀男 他	1年以上	秋学期	金6時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	やさしい知的財産入門 01	藤本 瞭一 他	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	やさしい知的財産入門 02	藤本 瞭一 他	1年以上	秋学期	水6時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	知とイノベーション戦略	藤本 瞭一	1年以上	春学期	金6時限	早稲田	2	○	
5	オープン	講義	ベンチャー企業の創出	柳 孝一	1年以上	春学期	水6-7	早稲田	2		
6	オープン	講義	ベンチャー起業家養成基礎講座（(株)大和証券グループ寄附講座）	並木 秀男 他	1年以上	春学期	水6時限	早稲田	2		
7	オープン	講義	やさしい「先端物質と生命科学」	清水 功雄	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	
8	オープン	講義	サイエンスコミュニケーション入門	清水 功雄 他	1年以上	集中講義 (春学期)	土その他	西早稲田	2	○	
9	オープン	講義	実践サイエンスコミュニケーション	清水 功雄 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2	○	学外実習あり、 8/22~24、 8,000円（予定）
10	オープン	講義	やさしい「環境とエネルギー」	清水 功雄	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	
11	オープン	講義	知とイノベーション戦略（演習）	藤本 瞭一 他	1年以上	秋学期	金6時限	早稲田	2	○	
12	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習（知財コミュニケーション）01	藤本 瞭一 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2		
13	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習（知財コミュニケーション）02	藤本 瞭一 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2		
	オープン	講義	シルマン・ハイテクベンチャー講座						2		廃止、取下げ

★選択科目

修了必要単位=14単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ジャーナリズム概論	花田 達朗 他	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	映画のすべて マスターズ・オブ・シネマ（(株)フジテレビジョン寄附講座）	安藤 紘平 他	1年以上	春学期	土4時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	現代演劇入門	水谷 八也 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2		8/4~6、8~9
4	オープン	講義	舞台美術と演劇	竹本 幹夫 他	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	地域連携と地域競争力	藁谷 友紀 他	1年以上	秋学期	月6時限	早稲田	2		
6	オープン	講義	情報化社会論	土方 正夫	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
7	オープン	講義	環境を経営する	友成 真一	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2	○	
8	オープン	講義	生命科学の最前線	梅津 光生 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
9	オープン	講義	コミュニティ論（入門と基礎理論）		1年以上			早稲田	2		休講
10	オープン	講義	コミュニティ論（展開と実践）		1年以上			早稲田	2		休講
11	人科	学部提供	科学史	加藤 茂生	1年以上	春学期	火5時限	所沢	2		
12	先進	学部提供	化学史・化学技術史	清水 功雄	1年以上	秋学期	木1時限	西早稲田	2		
13	先進	学部提供	先進理工技術経営	清水 功雄	4年以上	秋学期	水6時限	西早稲田	2		
	オープン	講義	世界の基層文化とことば						2		廃止、取下げ

設置の趣旨・概要

今日私たちが知っている西欧文化の一つの大きな根は、古代の地中海地域にまでさかのぼることができます。現代の欧米文化を知るひとつの手がかり、文化的DNAがそこにあるといえます。本副専攻では、さまざまに分化した地中海沿岸諸国の「今」を知り、また広くヨーロッパの「今」を知り、またそこに由来する文化や移住民によって成り立つ北米・南米のそれ、さらに地中海に生まれた宗教を受容した東南アジアのそれを知るための前提を考察していきます。

具体的には、1) 古典語を含めて「言語」のもつ重要性に鑑み、その履修を積極的に推し進めると同時に、そこから 2) 芸術・思想・宗教・社会、さらには思考・行動様式の理解にまで至る文化研究とその教育を目指します。

履修モデル

- 1) コア科目は、9つの演習・講義科目から成り立っています。そのうちの1科目は、修了論文作成のための修了演習科目（必須）です。必要単位は6単位以上、したがって履修者は、演習+講義（あるいは演習）+修了演習科目の3つをコア科目として選択することが望ましいでしょう。演習を選択することができなかった場合には、2つの講義科目と修了演習科目という組み合わせもあります。
- 2) そのほかに選択科目からは、自分の研究課題に応じて12単位以上修得してください。

そのほかにどんな形であれ、現地での経験をお勧めします。そのための場を提供する予定です。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	語学的な能力のみならず、地理・歴史的、宗教的、文化的な側面からみられた具体的な地中海世界が見えてくるでしょう。	・語学的なスキルをさらに磨くと同時に、専門的な領域を発見すること。 ・文化を知るエキスパートとしてさまざまな専門職種での活躍が見込まれます。

学生へのメッセージ

地中海文化の衣・食・住への関心、現代の民主主義政治への関心、古典語（ギリシア語・ラテン語）への純粋な興味、キリスト教への関心、イタリア映画への興味、フラメンコ好き、ヨーロッパ中世がイスラム文化から受けた影響への関心等々、どんな関心でも結構です。その関心を出発点として、地中海文化を研究してみたいはいかがでしょうか。古典ギリシア語、ラテン語、イタリア語、スペイン語、フランス語、アラビア語といった語学の習得もぜひ始めてください。言語とは、それぞれの民族や国民の思考システムを形成するものです。言葉を知るということは、相手を理解するための第一歩です。さらに同時に文化のどんな領域でも結構ですが、実際に何かに触れて関心を持つようにしてください。

本副専攻では、スタディ・ツアーも計画しています。その際には、皆さんに企画立案の中心になっていただきます。課題を設定し、自分自身の研究成果を確認するという作業となるでしょう。また合宿も計画されています。そこでは、教員による指導やティーチング・アシスタントによるサブゼミを通して、研究の方法やその広がり理解できるはずですよ。

それでは皆さんと一緒に勉強できることを楽しみにしています。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位（コア科目6単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	ソクラテスと現代	丸野 稔	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	地中海文化とは何か?	酒井 紀幸	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	地中海文化の諸相	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海の美学への導入	酒井 紀幸	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
5	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海世界に生きた人々(導入)	宮城 徳也	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ(地中海)	古代の神々への導入	丸野 稔	1年以上	春学期	金4時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(地中海)	フランスと地中海文化への導入	M. M. ハルヴェーレスコ	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		
8	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(地中海文化)O1	丸野 稔 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2		履修必須
9	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(地中海文化)O2	丸野 稔 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2		履修必須

★選択科目

修了必要単位=12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	キリスト教の世界	酒井 紀幸	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		
2	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海の美学	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	上級生優先枠5名
3	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海世界に生きた人々(展開)	宮城 徳也	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
4	オープン	テーマカレッジ(地中海)	イベリア半島と地中海	森本 栄晴	1年以上	秋学期	金1時限	早稲田	2		上級生優先枠10名
5	オープン	テーマカレッジ(地中海)	古代の神々	丸野 稔	1年以上	秋学期	金4時限	早稲田	2		
6	オープン	テーマカレッジ(地中海)	フランスと地中海文化	M. M. ハルヴェーレスコ	1年以上	秋学期	月5時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海と西ヨーロッパ世界の法の歴史	原田 俊彦	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	新設
8	オープン	テーマカレッジ(地中海)	地中海の文化と思想	酒井 紀幸 他	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2	○	新設 上級生優先枠5名
9	オープン	イタリア語	イタリア語(準中級)	小林 勝 他	1年以上	春学期	※	早稲田	2		
10	オープン	イタリア語	イタリア語(中級)	小林 勝 他	1年以上	秋学期	※	早稲田	2		
11	教育	学部提供	古典語(ギリシャ)	兼利 琢也	1年以上	通年	金4時限	早稲田	4		
12	教育	学部提供	古典語(ラテン)	兼利 琢也	1年以上	通年	火4時限	早稲田	4		
13	商学	学部提供	スペイン語圏の文化と言葉 1	森本 栄晴	3年以上	春学期	水1時限 土1時限	早稲田	4		
14	文構	学部提供	言語学入門	森田 彰	1年以上	春学期	木6時限	戸山	2		
15	文	学部提供	入門ギリシャ語1	宮城 徳也	1年以上	春学期	木5時限	戸山	2		
16	文	学部提供	入門ギリシャ語2	宮城 徳也	1年以上	秋学期	木5時限	戸山	2		
17	文	学部提供	新約聖書のギリシャ語講読	宮城 徳也	1年以上	春学期	金5時限	戸山	2		
18	文	学部提供	哲学・歴史のギリシャ語講読	宮城 徳也	1年以上	秋学期	金5時限	戸山	2		
19	文	学部提供	入門ラテン語1	兼利 琢也	1年以上	春学期	土5時限	戸山	2		
20	文	学部提供	入門ラテン語2	兼利 琢也	1年以上	秋学期	土5時限	戸山	2		
21	文	学部提供	思想・歴史・キリスト教のラテン語	酒井 紀幸	1年以上	春学期	フルオン デマンド	-	2		
22	文	学部提供	中世・ルネサンスのラテン語	酒井 紀幸	1年以上	秋学期	フルオン デマンド	-	2		
23	文	学部提供	ギリシャ・ローマの思想と文化	宮城 徳也 他	1年以上	秋学期	水5時限	戸山	2		
24	文	学部提供	西洋思想史1(古代)	丸野 稔	1年以上	秋学期	木5時限	戸山	2		
25	文	学部提供	西洋思想史2(中世)	中村 秀樹	1年以上	秋学期	金5時限	戸山	2		

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覧」を確認してください。

中国像のパズルを創ろう！自分のピースを求めて知的冒険へと繰り出そう！

設置の趣旨・概要

中国は近年、目覚ましい経済発展を続けており、アジアの大国として国際社会でのプレゼンスも高まりつつある。他方、中国国内に目を向けると、政治改革問題や地域間格差、少数民族問題、環境問題など、世界に影響を与えうる様々な課題をも抱えている。このような中国の現状を知ることは、今後のアジアを展望する上で極めて重要なことである。本全学共通副専攻は、この複雑で多様な対象を様々な角度から見つめなおし、新たな発想に基づく中国理解、そして日中関係のあり方を学んでいく。

履修モデル

「中国の今」を体系的に学ぶため、本全学共通副専攻では、学内で開講している中国関連のカリキュラムを有機的に連動させ、受講生が自身のレベルにあわせて、中国理解を深められることを目指している。そのために通常の講義科目に加え、中国語の学習プログラムや中国現地での学習科目も設置し、受講生が中国を肌で感じることでできる機会を用意していきたい。

<コア科目>

「中国の歴史と社会」（2単位）＋「中国の法と社会」（2単位）など

<選択科目>

「歴史学（日中関係史）（1・2）」（各2単位）＋「中国総合講座（入門・発展）」（各2単位）＋「中国を知る」（2単位）など

<選択科目（語学関連科目）>

「中国会話を学ぶ（入門編）」（2単位）＋「中国会話を学ぶ（基礎編）」（2単位）など

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	中国に関する幅広い知識を身に付け、一定の語学力を習得。	習得した知識に基づき、中国に対し自らの見解を持ち、より専門的な教育への学習を奨励する。また卒業後、政府機関・企業等で中国と関わる分野で活躍してもらいたい。

学生へのメッセージ

「中国」を感じる、知る、身につけるための全学共通副専攻を、学生の皆さんとともに追求していきたいと思う。いつもと違う発想に身を置き、見えないものを見てみれば、新たな理解も可能となる。中国をとりまく未来像に関しては悲観的な見方が多いですが、あくなき知的探求を通じて自分自身の中国像を描いていきましょう。

指定科目一覧

修了必要単位

18単位 (コア科目4単位、選択科目14単位) 以上

★コア科目

修了必要単位=4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	中国総合講座(入門)	江 正股 他	1年以上	春学期	水5時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	中国総合講座(発展)	江 正股 他	1年以上	秋学期	水5時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	実践的中国研究入門	江 正股	1年以上	夏季集中	無その他		4	○	8/4~24、海外実習あり、8/4~24
4	オープン	講義	中国を知る		1年以上				2		休講
5	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国の法と社会	江 正股	1年以上	春学期	火3時限	早稲田	2	○	
6	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国の歴史と社会	劉 傑	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国報道の分析(概論)		1年以上				2		休講
8	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国報道の分析(特論)		1年以上				2		休講

★選択科目

修了必要単位=14単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	台湾を知る(入門)	江 正股	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2	○	
2	オープン	講義	台湾を知る(発展)	江 正股	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	ビジネス比較論 日台そして米中	岩永 康久 他	1年以上	春学期	水4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾研究 01	江 正股	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2	○	
5	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾研究 02	江 正股	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2	○	
6	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台企業の国際分業体制(基礎)	小林 英夫 他	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台企業の国際分業体制(応用)	小林 英夫 他	1年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2		
8	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	商社ビジネス現場から見た日・台そして中・米関係	岩永 康久	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	海外実習あり、上級生優先枠10名
9	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾の文化と社会(入門)	松岡 格	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		上級生優先枠2名
10	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	台湾の文化と社会(発展)	松岡 格	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
11	オープン	テーマカレッジ(台湾研究)	日台の経済・社会		1年以上				2		休講
12	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国語会話を学ぶ 入門編	楊 達	1年以上	春学期	水6時限	戸山	2		
13	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国語会話を学ぶ 基礎編	楊 達	1年以上	秋学期	水6時限	戸山	2		
14	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	アジア学生ネットワーク	砂岡 和子	1年以上	通年	木4時限	早稲田	4	○	
15	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	伝統中国と近代日本	島 善高	1年以上	前期夏季	金2時限	早稲田	4		追加 海外実習あり、上級生優先枠6名
16	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	東アジアの食と農(入門)	江 正股 他	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2	○	追加
17	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	東アジアの食と農(発展)	江 正股 他	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2	○	追加
18	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	大君外交と東アジア:朝鮮・琉球編		1年以上				2		休講
19	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	大君外交と東アジア:東南・東北アジア編		1年以上				2		休講
20	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	華人と異文化交流		1年以上				4		休講
21	教育	学部提供	中国語圏の社会と文化	青山 瑠妙	2年以上	後期	月2時限	早稲田	2		
22	社会学	学部提供	歴史学(日中関係史)1	劉 傑	1年以上	前期	月3時限	早稲田	2		
23	社会学	学部提供	歴史学(日中関係史)2		1年以上				2		休講
	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	中国伝統法と日本						4		廃止、取下げ
	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	東アジアの環境と社会(入門)						2		廃止、取下げ
	オープン	テーマカレッジ(東アジア研究)	東アジアの環境と社会(発展)						2		廃止、取下げ
★以下中国実施科目											
24	留学	留学センター提供	中国農村研究入門	向 虎	1年以上	集中講義(前期)	無その他	その他	2		
25	留学	留学センター提供	日中外交特論 01	帰 泳涛	1年以上	夏季集中	1-5	早稲田	2		8/3~5
26	留学	留学センター提供	日中外交特論 02	帰 泳涛	1年以上	後期	無1-5	その他	2		
27	留学	留学センター提供	日中経済論 01		1年以上				2		休講
28	留学	留学センター提供	日中経済論 02	章 政	1年以上	後期	無その他	その他	2		
29	留学	留学センター提供	比較経済・経営体制論 02	宋 磊	1年以上	後期	無その他	その他	2		
	留学	留学センター提供	不動産ビジネス						2		廃止、取下げ
	留学	留学センター提供	日中農業比較研究(農林中央金庫・農林中金総合研究所寄附講座)						2		廃止、取下げ

データ解析

Data Analysis

データから有益な情報を抽出するのはコンピュータですか、あなたの解析力ですか

設置の趣旨・概要

実験や観測から得られたデータの規則性や背景にある因果関係を解明することは、様々なビジネスや研究分野に共通の課題であり、統計解析を始めとする「データ解析」手法はそのための重要な手法です。近年は扱えるデータの量が増大し、各種データはデジタル化されてコンピュータで処理される機会が増えていきます。したがって、データの処理方法・解析方法を身につけることは、現代の情報リテラシー教育の一環として必要不可欠であると言えるでしょう。メディアネットワークセンター（MNC）では、統計・データ解析に関する全学共通副専攻「データ解析」を提供します。本副専攻を修了した学生は、特定の応用分野に偏らない統計的なものの見方を身につけ、コンピュータによるデータ解析の基礎的な知識を習得することを目的としています。

履修モデル

本副専攻では「コンピュータを用いたデータ解析」をキーワードとして、以下の3つのステップで副専攻を展開します。

- (1) データ解析の導入：統計的なものの考え方や、データ解析の概要について学びます。
- (2) データ解析の基礎：記述統計・推測統計を中心にデータ解析における基礎力を養います。
- (3) データ解析の応用：(1)(2)で身に付けた基礎力をもとに、①数理・統計基礎理論、②コンピュータによるデータ解析応用、③データ解析の適用分野への応用、についてより深く学びます。

3つのステップを段階的に進めることにより、データ解析の基礎と応用を体系的に学ぶことができます。コア科目は上記の(1)、(2)のステップに該当するデータ解析の基盤となる科目から構成され、特に「コンピュータによる統計入門」と「コンピュータによる統計解析」の2科目を必須科目とします（ただし、2006年度以前にこれらの科目の単位を修得した学生は、それ以外から必要単位数を得ればよいものとします）。また、本副専攻ではデータ解析の様々な分野への応用を学ぶため、学部設置科目を積極的に選択科目に取り入れています。選択科目はそれぞれの分野から4単位以上を履修することをお勧めします。修了条件として、コア科目6単位以上、選択科目18単位以上を修得することを条件とします。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	統計的なものの見方を身につけ、様々な応用場面における統計・データ解析の手法の使い方を学ぶ。	様々な応用場面に応じたデータ解析手法を自分で学ぶ。 本全学共通副専攻を修了した学生は、データ解析が使われる様々な場面に生かすことができる（例えば、SE、コンサルタント、システムアナリストなど）。

学生へのメッセージ

本副専攻では、「コンピュータを用いた統計解析」を中核に据え、その基礎的な手法の理論と実務への応用を学びます。一方で、統計学や数理統計学などの基礎理論に興味がある人に対しては、数学・確率論や関係する数理的理論の授業も提供します。就職する前にデータ解析の基本的な知識を身につけたい人、卒業研究や大学院進学のために統計的なものの見方を学びたい人には、本副専攻にぜひ参加していただきたいと考えています。

なお、本副専攻では、数学の知識も必要となりますが、必ずしも数学の知識を前提とはしません。数学が苦手でもこれから積極的に学ぶ気がある学生の皆さんの参加を期待しています。

指定科目一覧

修了必要単位

24単位（コア科目6単位、選択科目18単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	実験実習料	備考
1	MNC	MNC提供	コンピュータによる統計入門 01~10	青木 章通 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	履修必須
2	MNC	MNC提供	コンピュータによる統計解析 01~06	會田 雅樹 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	履修必須
3	MNC	MNC提供	コンピュータによる金融工学入門Ⅰ 01~03	高橋 敬隆 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
4	MNC	MNC提供	コンピュータによる多変量解析 01~02	須子 統太 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
5	MNC	MNC提供	統計学概論 01	瀧澤 武信 他	1年以上	春学期	フルオン デマンド		2	1,000	
6	MNC	MNC提供	データハンドリング入門 01	石田 崇	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	1,000	

★選択科目

修了必要単位=18単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	実験実習料	備考
1	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (C言語) 01~02	辰己 丈夫 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
2	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (Java) 01~03	伊知地 宏 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
3	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (VisualBasic) 01~04	石井 博	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
4	MNC	MNC提供	プログラミング初級 (Ruby)	伊知地 宏	1年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2	1,000	
5	MNC	MNC提供	プログラミング中級 (Java) 01~02	大内 英範 他	1年以上	春学期/ 秋学期	※	早稲田	2	1,000	
6	MNC	MNC提供	プログラミング中級 (C++) 01	大内 英範	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2	1,000	
7	MNC	MNC提供	データベースⅠ 01	前野 譲二	1年以上	春学期	木4時限	早稲田	2	1,000	
8	MNC	MNC提供	データベースⅡ 01	前野 譲二	1年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2	1,000	
9	MNC	MNC提供	大規模データ解析入門 01	長久 勝	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2	1,000	
10	MNC	MNC提供	コンピュータによる金融工学入門Ⅱ 01~02	高橋 敬隆 他	1年以上	秋学期	※	早稲田	2	1,000	
11	MNC	MNC提供	数理と情報 01	阪井 和男	1年以上	秋学期	フルオン デマンド		2	1,000	
12	MNC	MNC提供	使える数学 01	樋口 三郎	1年以上	秋学期	フルオン デマンド		2	1,000	
13	政経	学部提供	統計学 01	西郷 浩	1年以上	春学期	火1時限 金1時限	早稲田	4		
14	政経	学部提供	統計学 02	野口 和也	1年以上	秋学期	月1時限 木1時限	早稲田	4		
15	政経	学部提供	数理統計学A 01	井上 淳	2年以上	春学期	火4時限	早稲田	2		
16	政経	学部提供	数理統計学B 01	井上 淳	2年以上	秋学期	火4時限	早稲田	2		
17	政経	学部提供	経済統計 01	野口 和也	2年以上	春学期	月1時限 木1時限	早稲田	4		
18	社会学	学部提供	計量経済学Ⅰ	南部 和香	2年以上	前期	水4時限	早稲田	2		
19	社会学	学部提供	計量経済学Ⅱ	南部 和香	2年以上	後期	水4時限	早稲田	2		
20	社会学	学部提供	金融データ解析実習 1		3年以上			早稲田	2		隔年休講
21	基幹	学部提供	社会システム概論	村山 武彦	1年以上	春学期	金3時限	西早稲田	2		
	MNC	MNC提供	プログラミング初歩						2		廃止、取下げ
	MNC	MNC提供	プログラミング中級						2		廃止、取下げ

※クラスによって学期、曜日時限が異なるため、詳細は科目登録の手引き「科目一覧」を確認してください。

都市・地域研究

Undergraduate Minor in Urban and Regional Studies

都市・地域の環境・社会・経済・文化を読み解き、未来をデザインする

設置の趣旨・概要

都市とは、経済・社会の土俵であり、文化・文明・技術の牽引装置です。世界的な規模で押し寄せる「都市化」の波。都市化とは、都市人口が増加し、農村の過疎化が進むという意味と、都市的な生活様式が都心・郊外・農村に限らず社会全体に浸透するという意味の二つがあります。都市化は先進諸国における少子高齢化現象、文化的問題、途上国における人口増加、環境問題など、新たな課題の多くを生み出し、地球社会全体に大きな影響を与えています。世界の都市・地域で、これらの課題を乗り越えるために、次世代型の都市の「しくみ」と「かたち」につくり替えようというスケールの大きな挑戦です。ケーススタディをもとに、このような課題に対する認識を深め、グローバルな問題解決を目指した問題発見、課題探求、計画提案の方法を学ぶことが、都市・地域研究のテーマです。都市・地域の現状分析にとどまらず、政策や計画のデザインまで具体的に学びます。

履修モデル

本副専攻は、以下2つの今日世界的に重要な課題へ取り組むためのプログラムに重点を置いています。

1. 持続可能な環境開発論

持続可能性とは、有限な地球の資源や豊かさを、人間と他の生物が相互の尊重・承認のもとに同時代の社会集団の間で公平に分配しつつ、さらに多様性を維持しながら次世代に継承していくことを意味します。地形や気候などの自然地理、政治・経済などの人間社会、建築や土木などの人工環境の関係を踏まえ、その関係について、歴史・風土、文化をふまえた持続可能な都市・地域・コミュニティの計画、デザイン、マネジメントを学びます。

2. 成熟社会のマネジメント論

成熟社会とは、基本的な生存ニーズの充足から開放された市民が、多様な価値観の尊重のもと、個々人の生きがいや自己実現を支援しあう社会です。消費、行動、仕事、居住地、ライフスタイルなどの自己選択可能な社会が求められます。都市・地域の潜在力の発揮、独自性や個性の形成、対話による社会の政策及びデザイン、環境管理、安定性・リスク回避などを学びます。

実習やフィールドワークのバランスを図ります。修了演習科目では、コア科目を受講した教員の中から一人選び、指導を受け論文を提出します。

履修開始時	修了時	修了後の展望
本副専攻に興味・関心がある	<ul style="list-style-type: none">●都市・地域を<空間>として捉える見方を習得する。●自然環境、人工環境、社会環境(社会、経済、文化等)の関係を読み解く。●現状分析した上、<未来をデザインする>ための基礎的な知識とスキルを習得する。	<ul style="list-style-type: none">●勉学的な展望 都市計画、公共政策、社会学、地理学、地域研究などの専門あるいは複合分野へ●進路等の展望 都市・地域計画プランナー、政策プランナー、市民参加コーディネーターとして、まちづくり関連のコンサルタント、公務員、民間会社、NPO等へ

学生へのメッセージ

都市・地域研究は、確立された一つの専門的な学術分野で、海外では専門の学部や大学院も多く存在しますが、日本ではまだ多くありません。早稲田の都市・地域研究の科目や教員は、各学部、大学院などに目下散在していますが、その垣根を越えて総合的に連携する体制を構築しています。都市・地域研究は、伝統ある分野であると同時に、時代や社会の変化に応える視点が重要です。将来重要性を増す社会現象や学問的課題を見つけながら、既存の学問体系にとらわれずに新たな知的考察を加えていくマインドや学習態度が求められます。それだけにやりがいのある分野ですので、チャレンジしてください。

指定科目一覧

修了必要単位

20単位（コア科目6単位、選択科目14単位）以上

★コア科目

修了必要単位=6単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	現代都市・地域論	佐々木 葉 他	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	都市・地域概論	佐藤 滋 他	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	地域のサスティナビリティと風景デザイン	佐々木 葉	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2		学外実習あり、8月下旬(予定)
4	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	都市のサスティナビリティと風景デザイン	佐々木 葉	3年以下	春季集中	無その他	西早稲田	2		学外実習あり、2月中旬(予定)
5	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	都市再生を考える	早田 幸	1年以上	通年	水2時限	早稲田	4		学外実習あり
6	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	都市環境の法と政策	黒川 哲志	1年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		
7	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	地方都市のまちづくり現場をみる、さく	箸本 健二	3年以下	夏季集中	無その他	早稲田	2	○	新設、学外実習あり、2月中旬(予定)
8	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	共生社会とまちづくり		1年以上				2		休講
9	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	都市活性化と街路市		1年以上				2		休講
10	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	都市活性化のデザイン		1年以上				2		休講
11	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	情報化社会と都市計画		1年以上				2		休講
12	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	シュリンキング都市と計画		1年以上				2		休講
13	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	地域から湧き上がるまちづくりのデザイン(概論)		1年以上				2		休講
14	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	地域から湧き上がるまちづくりのデザイン(実践)		3年以下				2		休講
15	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	産業構造の変化と地域の計画		1年以上				2		休講
16	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	身近な地区の計画構想づくり		1年以上				2		休講
17	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	大震災に備える防災と復興のまちづくり		1年以上				4		休講
19	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(都市・地域研究)01	早田 幸 他	1年以上	春学期	無その他	早稲田	2		履修必須
20	オープン	修了演習	全学共通副専攻修了演習(都市・地域研究)02	早田 幸 他	1年以上	秋学期	無その他	早稲田	2		履修必須
	オープン	テーマカレッジ(変わりゆく現代都市・地域)	人口流動からみた東京大都市圏						2		廃止、取下げ

★選択科目

修了必要単位=14単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	情報化社会論	土方 正夫	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	参加のまちづくり		1年以上				2		休講
3	教育	学部提供	社会学研究Ⅱ-1	若林 幹夫	2年以上	前期	火2時限	早稲田	2		
4	教育	学部提供	社会学研究Ⅱ-2	南後 由和	2年以上	後期	火2時限	早稲田	2		
5	商学	学部提供	交通論 3	橋 洋介	2年以上	秋学期	月4時限 木4時限	早稲田	4		
6	社会学	学部提供	居住環境論 2	早田 幸	3年以上	後期	月3時限	早稲田	2		隔年開講
7	社会学	学部提供	環境法Ⅰ	黒川 哲志	3年以上	前期	水3時限	早稲田	2		
8	社会学	学部提供	環境法Ⅱ	黒川 哲志	3年以上	後期	水3時限	早稲田	2		「Ⅰ」を修得済であること
9	社会学	学部提供	地理情報システム論Ⅰ	大場 亨	1年以上	前期	木6時限	早稲田	2		
10	社会学	学部提供	地理情報システム論Ⅱ	大場 亨	1年以上	後期	木6時限	早稲田	2		「Ⅰ」を修得済であること
11	社会学	学部提供	コミュニティデザイン	卯月 盛夫	1年以上	前期	火4時限	早稲田	2		
12	社会学	学部提供	EU・ドイツの都市づくり	卯月 盛夫	2年以上	後期	水5時限	早稲田	2		
13	社会学	学部提供	公共事業論	卯月 盛夫	2年以上	後期	水4時限	早稲田	2		
14	社会学	学部提供	環境表現論ⅠA	佐藤 洋一	1年以上	前期	月3時限	早稲田	2		
15	社会学	学部提供	環境表現論ⅠB	佐藤 洋一	1年以上	前期	水3時限	早稲田	2		
16	社会学	学部提供	環境表現論Ⅱ	佐藤 洋一	2年以上	後期	火4時限	早稲田	2		「ⅠA」もしくは「ⅠB」を修得済であること
17	社会学	学部提供	社会言語としての映像	佐藤 洋一	2年以上	前期	月4時限	早稲田	2		
18	社会学	学部提供	都市科学概論		1年以上				2		隔年休講
19	社会学	学部提供	居住環境論 1		3年以上				2		隔年休講
20	人科	学部提供	都市社会学	臼井 恒夫	1年以上	秋学期	金2時限	所沢	2		
21	文構	学部提供	地域・都市論研究	浦野 正樹	2年以上	春学期	火4時限	戸山	2		
22	文構	学部提供	環境変容と地域・都市の社会変動	浦野 正樹	2年以上	秋学期	火4時限	戸山	2		
23	文構	学部提供	ローカル・ガバナンス論	三田 啓一	3年以上	春学期	水5時限	戸山	2		
24	基幹	学部提供	現代環境論	村山 武彦	1年以上	春学期	月2時限	西早稲田	2		
25	基幹	学部提供	環境倫理	村山 武彦	2年以上	春学期	火4時限	西早稲田	2		
26	基幹	学部提供	環境政策と計画	村山 武彦	2年以上	秋学期	月2時限	西早稲田	2		
27	基幹	学部提供	社会システム概論	村山 武彦	1年以上	春学期	金3時限	西早稲田	2		
28	基幹	学部提供	社会システム設計論	村山 武彦	2年以上	秋学期	金3時限	西早稲田	2		
29	創造	学部提供	環境基礎工学	榎原 豊	1年以上	秋学期	金3時限	西早稲田	2		
30	創造	学部提供	空間デザイン	佐々木 葉	1年以上	秋学期	水5時限	西早稲田	2		
31	創造	学部提供	景観工学	佐々木 葉	2年以上	秋学期	水2時限	西早稲田	2		
32	創造	学部提供	都市計画	上野 俊司	3年以上	春学期	水3時限	西早稲田	2		
33	創造	学部提供	交通計画	浅野 光行	3年以上	春学期	水2時限	西早稲田	2		
34	創造	学部提供	景観設計	後藤 春彦	3年以上	春学期	月4時限	西早稲田	2		

日本語教育学研究

Study in Japanese Language Education

日本語を教えることと学ぶこと

設置の趣旨・概要

古くから留学生を受け入れてきた本学は、現在、約3,000名の外国人留学生を受け入れており、本学日本語教育研究センターでは1,500名以上もの外国人留学生が日本語科目を学習しています。

また、本学大学院日本語教育研究科は、第二言語として日本語を学ぶ学習者が日本語を身に付け日本語でコミュニケーションを行なうための教育のあり方と方法を理論的に研究し、“理論”と“実践”が統合された教育が展開できる日本語教師を養成しています。日本語教育研究科の修了生は、日本中、あるいは世界各国で日本語教育とその関連領域で活躍しています。

本副専攻では、日本語教育学を幅広く体系的に学びつつ、日本語を教えるとはどのようなことなのかを学ぶことができます。また、それは、自分自身が日本語と日本語が使用されるコミュニティに関してより深く考えるきっかけとなるでしょう。

コア科目「日本語教育学入門」は、大学院日本語教育研究科の専任教員が担当するオムニバス講座で、日本語教育学の概要(言語としての日本語について、また言語教育と学習について)を幅広く体系的に学ぶことができます。まず、この「日本語教育学入門」をはじめとするコア科目から自分の関心のある研究分野を発見し、そして、「選択科目」で興味のある領域を探求しながら、自分自身が求める「日本語教育学研究」を履修することができます。

履修モデル

		設置科目数	履修モデル1	履修モデル2
コア科目	入門科目 *1	2科目	2科目	1科目
	より専門的な科目	10科目	—	1科目
選択科目	専門的な科目	19科目	6科目以上	6科目以上

*1 「日本語教育学入門」は、2種類2クラス設置されています。

履修開始時	修了時	修了後の展望
日本語教育に興味・関心がある。 日本語に関心がある。 留学生に関心がある。	日本語教育の基礎となる、現代日本語および日本語非母語話者への日本語教育に関する体系的な知識を習得する。	・海外の大学で日本語教育のTAとなる。 ・地域の教室や学校で日本語を支援する。 ・大学院に進学し、専門的に研究する。

学生へのメッセージ

- ・第二言語としての日本語教育について、日本語教育研究センターで実際に日本語教育を行なっている日本語教育研究科の教員が基礎的な内容から最新の課題まで、わかりやすく講義しますので、どの学部の方でも受講可能です。
- ・日本語教師を目指す方、日本語や言語教育に関心のある方だけでなく、海外留学をお考えの方や異文化コミュニケーション、学校教育の国際化、言語教育政策など広く国際関係に関心のある方にも役立つ内容です。
- ・より専門的に学びたい方には、大学院日本語教育研究科への道もあります。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	日本語	日本語センター提供	日本語教育学入門（日本語教育のための日本語学）	佐久間 まゆみ 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
2	日本語	日本語センター提供	日本語教育学入門（日本語教育と学習の多様性）	高木 美嘉 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
3	日本語	日本語センター提供	ことば・社会と日本語教育（春）	八木 真奈美	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2		
4	日本語	日本語センター提供	ことば・社会と日本語教育（秋）	八木 真奈美	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
5	日本語	日本語センター提供	成長と発達を支えることばの教育（春）	尾関 史	1年以上	春学期	月4時限	早稲田	2		
6	日本語	日本語センター提供	成長と発達を支えることばの教育（秋）	尾関 史	1年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2		
7	日本語	日本語センター提供	「書く」ことと日本語教育（春）	宮崎 七湖	1年以上	春学期	火2時限	早稲田	2		
8	日本語	日本語センター提供	「書く」ことと日本語教育（秋）	宮崎 七湖	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
9	日本語	日本語センター提供	日本語学習者の文法（春）	黒田 史彦	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2		
10	日本語	日本語センター提供	日本語学習者の文法（秋）	黒田 史彦	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		
11	日本語	日本語センター提供	日本語教育教材考（映画『男はつらいよ』の日本語と日本文化）（春）	中山 英治	1年以上	春学期	金1時限	早稲田	2		
12	日本語	日本語センター提供	日本語教育教材考（映画『男はつらいよ』の日本語と日本文化）（秋）	中山 英治	1年以上	秋学期	金1時限	早稲田	2		

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	日本語	日本語センター提供	子どものための日本語教育（秋）	川上 郁雄	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
2	日本語	日本語センター提供	子どものための日本語教育（春）		1年以上				2		休講
3	日本語	日本語センター提供	日本語の語彙教育		1年以上				2		休講
4	日本語	日本語センター提供	日本語教育の教材	吉岡 英幸	1年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
5	日本語	日本語センター提供	ことばの学びと学習環境デザイン		1年以上				2		休講
6	日本語	日本語センター提供	言語政策と日本語教育（身近な外国人問題を考える）	宮崎 里司	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
7	日本語	日本語センター提供	「移動する子ども」のことばの教育学	川上 郁雄	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
8	日本語	日本語センター提供	敬語コミュニケーション論Ⅰ	蒲谷 宏	1年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
9	日本語	日本語センター提供	敬語コミュニケーション論Ⅱ	蒲谷 宏	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
10	日本語	日本語センター提供	待選コミュニケーションB（秋）		1年以上				2		休講
11	日本語	日本語センター提供	第二言語習得概論	宮崎 里司	1年以上	秋学期	水3時限	早稲田	2		
12	日本語	日本語センター提供	日本語と中国語の対照A	鈴木 義昭	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		
13	日本語	日本語センター提供	日本語と中国語の対照B	鈴木 義昭	1年以上	秋学期	月3時限	早稲田	2		
14	日本語	日本語センター提供	ことばと思考（言語コミュニケーション教育論）	細川 英雄	1年以上	春学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
15	日本語	日本語センター提供	書くこと・考えること	細川 英雄	1年以上	秋学期	フルオンデマンド	早稲田	2		
16	日本語	日本語センター提供	実践日本語コミュニケーション（春）	高木 美嘉	1年以上	春学期	金3時限	早稲田	2		
17	日本語	日本語センター提供	実践日本語コミュニケーション（秋）	高木 美嘉	1年以上	秋学期	金3時限	早稲田	2		
18	日本語	日本語センター提供	「日本語」とはどんな言葉か	川口 義一	1年以上	秋学期	木1時限	早稲田	2		
19	日本語	日本語センター提供	日本語の音声	戸田 貴子	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2		
20	日本語	日本語センター提供	日本語の文章談話Ⅰ	佐久間 まゆみ	1年以上	春学期	火3時限	早稲田	2		
21	日本語	日本語センター提供	日本語の文章談話Ⅱ	佐久間 まゆみ	1年以上	秋学期	火3時限	早稲田	2		
22	日本語	日本語センター提供	考えるための日本語（テーマを発見する）	細川 英雄	1年以上	春学期	水3時限	早稲田	2		
	日本語	日本語センター提供	日本語の音声教育（秋）	戸田 貴子	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	日本語の音声教育（春）	戸田 貴子	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	日本語の文法教育（春）	小林 ミナ	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	日本語の文法教育（春）	小林 ミナ	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	文章・談話の表現と理解（話し言葉から書き言葉へ）	佐久間 まゆみ	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	文章・談話の表現と理解（書き言葉から話し言葉へ）	佐久間 まゆみ	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	考えるための日本語（個人と社会を結び）	細川 英雄	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ
	日本語	日本語センター提供	考えるための日本語（ことばの市民になる）	細川 英雄	1年以上			早稲田	2		廃止、取下げ

人間の生命科学

Human life sciences

人間を知ろう、命を知ろう

設置の趣旨・概要

この全学共通副専攻一は人間を生命科学、特に進化、脳、行動、性などを中心として理解し、さらに人間の生活につながる学問を結びつけながら学ぶことで、人間の理解を深めようとするものです。

人間の理解の最初は、人間がどのようなものから成り立っているか学ぶところから始めるのが通常です(人間生命科学における基礎科学)。人間の形やからだの中(解剖学)、さらに細胞の形と機能(細胞学)、細胞組織のなりたち(組織学)それに、からだの機能(生理学)、それらの基礎となる細胞の中での化学反応(生化学、分子生物学、薬理学)、それに人間の発生(発生学)などです。それらの科目は本来なら、コア科目としておくべきものですが、選択科目としておいてあります。それは、この全学共通副専攻一は、まずは人間に興味を持ってもらうことからはじめようという趣旨ではじめたからです。

コア科目には、人間のからだところすべてを統括している脳の研究の最前線を知ることのできる科目、生命現象の研究の最前線を知ることのできる科目、からだの中の化学反応を理解するための基礎である物質についての科目、さらに、人間の存続と生活に大きな影響を持つ性の仕組みについての科目、その上で、地球上の多様な生物の中での人間の位置づけを学ぶ科目がおかれています。コア科目をとることで人間の脳や体の不思議とすごさを感じてください。

人間が健康に健全な生活を送るには生命科学の分野の理解だけでは不十分で、医療、倫理、法律、経済経済、地球自然、社会とすべての学問が必要となり、オープンになっているすべての学問が関係してくるといっても言い過ぎではないでしょう。選択科目には人間生命科学の基礎科目だけではなく、周辺の科目も含まれています。この全学共通副専攻一で学んだことだけではなく、大学で学ぶものをすべて吸収して、幅広く人間を理解してもらいたいと考えています。

履修モデル

コア科目はどれからとってもかまいません。選択科目もどれからとってもよいのですが、からだを知る基本的な科目を学ぶ順は、解剖学、細胞組織学、生理学と学んでいくのが良いでしょう。人の発達などに興味のある人は発生学、分子生物学などを履修するとよいでしょう。その上で、医療関係の科目、生命倫理関係の科目、環境と生物など多様な科目をとるのが良いでしょう。終了時には人間を総合的に見るようになると思います。

学生へのメッセージ

楽しんで、人間を学んでください。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	生命科学の最前線	梅津 光生 他	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	やさしい「先端物質と生命科学」	清水 功雄	1年以上	秋学期	火2時限	早稲田	2	○	
3	オープン	講義	人間の進化生物学	内田 亮子	1年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		
4	オープン	講義	性差の人間科学	山内 兄人	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	脳科学入門	永島 計 他	3年以下	春季集中	無その他	所沢	2		2/8~10

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	オープン	講義	こころとからだの健康 01	堀 正士	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	こころとからだの健康 02	堀 正士	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	サイエンスコミュニケーション入門	清水 功雄 他	1年以上	集中講義 (春学期)	土その他	西早稲田	2	○	
4	オープン	講義	早稲田キャンパスにおける生物と環境を探索	小泉 博 他	1年以上	夏季集中	無その他	早稲田	2		8/31~9/2
5	オープン	講義	研究倫理概論(学部生用)	土田 友章 他	3年以上	秋学期	フルオン デマンド		2		
6	オープン	講義	科学倫理	朝日 透 他	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
7	教育	学部提供	動物の機能Ⅱ(ホルモンによる調節)	和田 勝	1年以上	後期	水3時限	早稲田	2		
8	人科	学部提供	内分泌学	山内 兄人	1年以上	春学期	月1時限	所沢	2		
9	人科	学部提供	脳の構造と機能	山内 兄人	1年以上	秋学期	月1時限	所沢	2		
10	人科	学部提供	解剖学	小室 輝昌	1年以上	春学期	金3時限	所沢	2		
11	人科	学部提供	細胞組織学	小室 輝昌	1年以上	秋学期	火2時限	所沢	2		
12	人科	学部提供	生理学	今泉 和彦	1年以上	春学期	月1時限	所沢	2		
13	人科	学部提供	環境生理学	永島 計	1年以上	秋学期	火2時限	所沢	2		
14	人科	学部提供	神経筋制御論	鈴木 秀次	1年以上	秋学期	水2時限	所沢	2		
15	人科	学部提供	東洋医学の人間科学(井深大基金 寄附講座)	鈴木 昌夫 他	1年以上	秋学期	金2時限	所沢	2		
16	人科	学部提供	生化学	榊原 伸一	1年以上	秋学期	水2時限	所沢	2		追加
17	人科	学部提供	分子神経科学	榊原 伸一	1年以上	春学期	水2時限	所沢	2		追加
	人科	学部提供	発達生物学						2		廃止、取下げ
	人科	学部提供	分子生物学						2		廃止、取下げ

平和は、単に戦争のない状態ではない

設置の趣旨・概要

世界中で、平和学専攻で学位を取得できる大学はほんのわずかです。本学では7年前から平和学研究所を設置し、平和学の世界拠点の一翼を担おうとテーマカレッジ「平和学」、「21世紀世界における戦争と平和」を開講してきました。本副専攻は、そうした経験を生かして設置しました。副専攻としての平和学修了証は、少なくとも日本国内で得られるおそらく唯一のものでしょう。本学が世界有数の人類に必要とされる知的共同体となろうとすれば、暴力、紛争、格差、環境問題を抱える現在の世界の時代状況からみても、欠くべからざる副専攻のひとつとなります。

1970年代から本格化した「現代型」の平和学は、それまでの戦争と平和のみを語る研究ではなく、構造的暴力の除去をも目的とする学問に発展しました。平和学は、当初から、学際性、国際性、構想力、批判力を要請される実学として出発しています。本副専攻を設置するにあたってこれらの特徴を包含する科目でなければなりません。その意味で、平和の意味・価値、歴史と平和、暴力、武力紛争、環境問題、格差と貧困、人権、ジェンダー、紛争と平和構築、国際協力など幅広い分野にまたがる知識を身につけることが求められます。

座学ばかりではなく、インターンシップ実習（国際協力）を指定科目とすることにより、社会科学に軸足をおきながら、講義・演習・実習の三位一体となった科目群をめざします。その観点からも、課外活動への参加を強く呼びかけます。

「平和は希求するだけでは実現されない。平和の実現に向けて科学的な見地から研究を蓄積し、その成果を広く人類が行動指針として受け入れ、努力しなければならない。」これが、出発点となります。

履修モデル

特に履修条件、履修モデルなどは設けません。テーマカレッジ「平和学」、「21世紀世界における戦争と平和」を中心に組み立ててあります。現行では、2011年度に準備した科目は、学際性に加え、国際関係論・国際政治学に重点があります。逆に、環境問題や、ジェンダーなどについては、多少手薄になっています。したがって、受講生は、もし必要であるならば、学際的な副専攻、国際関係論からアプローチする副専攻の、どちらかの副専攻を選択することが可能です。

学生へのメッセージ

Time誌は、毎年、その年最も活躍した影響力のある人を最終号でPerson of the Yearに指定して表紙を飾ります。2006年に表紙を飾ったのはPC画面の中のYou（あなた）という3文字でした。Yes, you. You control the Information Age. Welcome to your world.と解説をつけた。But look at 2006 through a different lens and you'll see another story, one that isn't about conflict or great men. It's a story about community and collaboration on a scale never seen before. It's about the cosmic compendium of knowledge Wikipedia and the million-channel people's network YouTube and the online metropolis MySpace. It's about the many wresting power from the few and helping one another for nothing and how that will not only change the world, but also change the way the world changes.[...] But 2006 gave us some ideas. This is an opportunity to build a new kind of international understanding, not politician to politician, great man to great man, but citizen to citizen, person to person.

<http://www.time.com/time/magazine/article/0,9171,1569514,00.html?aid=434&from=o&to=http%3A//www.time.com/time/magazine/article/0%2C9171%2C1569514%2C00.html>

この情報化時代にあって、頻発する紛争や核武装への動きを断ち切るのは、地球市民であるあなただというメッセージです。時代はまさに、この方向に動いています。それでもなぜ平和は実現しないのか。一緒に考えてみましょう。

指定科目一覧

修了必要単位

16単位（コア科目4単位、選択科目12単位）以上

★コア科目

修了必要単位 = 4単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	認	備 考
1	オープン	講義	21世紀世界における戦争と平和(入門・歴史)	多賀 秀敏 他	1年以上	春学期	土2時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	21世紀世界における戦争と平和(争点、ケース)	多賀 秀敏 他	1年以上	秋学期	土2時限	早稲田	2		
3	オープン	テーマカレッジ(平和学)	平和学入門	佐藤 幸男	1年以上	春学期	月2時限	早稲田	2		上級生優先枠6名
4	オープン	テーマカレッジ(平和学)	平和を支える技術	山崎 芳男	1年以上	春学期	火5時限	早稲田	2	○	
5	オープン	テーマカレッジ(平和学)	国際情報通信の発展と平和	加納 貞彦	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2	○	上級生優先枠10名
6	オープン	テーマカレッジ(平和学)	民族問題と平和	長與 進	1年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2	○	
7	オープン	テーマカレッジ(平和学)	国際政治学と平和	奥迫 元	1年以上	秋学期	水4時限	早稲田	2	○	
8	オープン	テーマカレッジ(平和学)	歴史認識と平和	安藤 裕子	1年以上	春学期	金2時限	早稲田	2	○	
9	オープン	テーマカレッジ(平和学)	平和構築入門	山田 満	1年以上	春学期	月3時限	早稲田	2	○	
10	オープン	テーマカレッジ(平和学)	国際人権と平和		1年以上				2		休講

★選択科目

修了必要単位 = 12単位

項	設置学部・センター	科目区分	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	認	備 考
1	オープン	講義	ジェンダーを考える	弓削 尚子 他	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		
2	オープン	講義	国際開発援助 理論と実践	秋吉 恵 他	1年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		
3	オープン	講義	国際協力の実践と理論	中村 英俊 他	1年以上	秋学期	月4時限	早稲田	2	○	
4	オープン	講義	国際協力入門	大門 毅 他	1年以上	春学期	木6時限	早稲田	2		
5	オープン	講義	人権と市民活動・ボランティア	田村 正勝 他	1年以上	春学期	木5時限	早稲田	2		
6	オープン	インターンシップ	インターンシップ実習 02(国際協力)	黒田 一雄	1年以上	秋学期	土4-5	早稲田	2	○	
7	政経	学部提供	国際政治学 01	坪内 淳	2年以上	春学期	火5時限 金5時限	早稲田	4		
8	社会学	学部提供	第三世界論	佐藤 幸男	3年以上	後期	金3時限	早稲田	2		
9	社会学	学部提供	平和学 I	多賀 秀敏	1年以上	前期	フルオン デマンド	-	2		
10	社会学	学部提供	平和学 II - 1 (平和と戦争)	多賀 秀敏	2年以上	後期	火5時限	早稲田	2		履修条件は「Webシラバス」参照
11	社会学	学部提供	平和学 II - 2 (貧困・格差・人権・環境と平和)	多賀 秀敏	2年以上	後期	土4時限	早稲田	2		「I」を修得済であること
12	社会学	学部提供	国際政治理論	奥迫 元	3年以上	前期	水3時限	早稲田	2		
13	社会学	学部提供	太平洋地域海洋国家研究	奥迫 元	3年以上	後期	金3時限	早稲田	2		
14	社会学	学部提供	国際NGO協力論	山田 満	3年以上	前期	金2時限	早稲田	2		
15	社会学	学部提供	国際開発制度論	笹岡 雄一	3年以上	後期	火2時限	早稲田	2		
16	社会学	学部提供	平和構築論 A	山田 満	3年以上	前期	火4時限	早稲田	2		
17	社会学	学部提供	平和構築論 B	山田 満	3年以上	後期	火4時限	早稲田	2		
18	社会学	学部提供	移行経済論 I	トラン ヴァントウ	2年以上	前期	月4時限	早稲田	2		
19	社会学	学部提供	移行経済論 II	トラン ヴァントウ	2年以上	後期	月4時限	早稲田	2		「I」を修得済であること
20	社会学	学部提供	紛争解決論実習 1	多賀 秀敏	1年以上	夏季集中	無その他		2		未定(8月下旬から9月上旬)
21	社会学	学部提供	紛争解決論実習 2	山田 満	1年以上	夏季集中	無その他		2		未定(8月下旬から9月上旬)
	オープン	講義	国際交流と社会貢献						2		廃止、取下げ

全学共通副専攻履修履歴 確認シート

修了予定副専攻	副専攻		
コア科目必要単位数	単位	選択科目必要単位数	単位

○コア科目

履修年度	学期	科目名	単位	メモ

合計： _____ 単位

○選択科目

履修年度	学期	科目名	単位	メモ

合計： _____ 単位



2006年度以前に修得した単位は無効です！



修了には事前の「修了希望申請」が必要です！

※「修了希望申請」を行なうには該当副専攻の単位を8単位以上修得済であることが条件です